

令和7年度 新規採択

団 体 営 土 地 改 良 事 業 計 画 書

(農用地保全)

要綱事業名

(農地防災事業)

沖 縄 県

地 区 名 : 石川前田第2地区

所 在 地 : うるま市

事業主体 : うるま市

団体営石川前田第2地区土地改良事業計画書

目 次

第1章	目的	-----	1
第2章	地域及び地積	-----	1
	第1節 地域	-----	1
	第2節 地積	-----	1
第3章	現況	-----	2
	第1節 気象及び海象	-----	2
	1. 一般気象	-----	2
	2. 特殊気象	-----	2
	3. 海象	-----<該当なし>-----	3-1
	第2節 土地状況	-----	3-1
	1. 地形、土壌及び浸食の程度	-----	3-1
	2. 土地分類	-----<該当なし>-----	4
	3. 土地の利用状況	-----	5
	4. 土地所有の状況	-----	6
	第3節 水利状況	-----	7
	1. 用水状況	-----<該当なし>-----	7
	2. 排水状況	-----	10
	3. 河川状況	-----<該当なし>-----	13
	第4節 道路現況	-----<該当なし>-----	14
	1. 道路概況	-----<該当なし>-----	14
	2. 主要道路一覧表	-----<該当なし>-----	14
	第5節 地域農業の概況	-----	14
	1. 産業別就業人口	-----	14
	2. 経営耕地狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専業別農家数	-----	15
	3. 動力器具及び主要家畜頭数	-----	16
	4. 主要作物付状況	-----	17
	5. 農業の動向	-----	18
	第6節 地域環境の現況	-----	19
第4章	一般計画	-----	20
	第1節 事業計画の要旨	-----	20
	1. 要旨	-----	20
	2. 事業別面積	-----	20
	第2節 営農計画及び土地利用計画	-----	21
	1. 営農計画の概要	-----	21
	2. 土地利用区分	-----	21
	3. 作付方式	-----	22
	4. 生産計画	-----<該当なし>-----	23
	5. 労働改善計画	-----<該当なし>-----	24

第5章	主要工事計画	-----<該当なし>-----	46	6. 級地別土地利用区分	-----<該当なし>-----	25
	第1節 用水施設	-----<該当なし>-----	46	7. 土地配分計画	-----<該当なし>-----	26
	1. 貯水池	-----<該当なし>-----	46	第3節 用水計画	-----<該当なし>-----	27
	2. 頭首工	-----<該当なし>-----	46	1. 計画基準年	-----<該当なし>-----	27
	3. 揚水機	-----<該当なし>-----	47	2. 計画かんがい方式	-----<該当なし>-----	27
	4. 用水路	-----<該当なし>-----	48	3. 計画用水系統	-----<該当なし>-----	27
	5. その他かんがい施設	-----<該当なし>-----	48	4. 用水量	-----<該当なし>-----	28
	第2節 排水水門	-----<該当なし>-----	49	5. 水源計画	-----<該当なし>-----	29
	1. 排水水門	-----<該当なし>-----	49	第4節 排水計画	-----<該当なし>-----	32
	2. 排水機	-----<該当なし>-----	49	1. 計画基準雨量	-----<該当なし>-----	32
	3. 排水路	-----<該当なし>-----	50	2. 計画排水方式	-----<該当なし>-----	32
	4. その他	-----<該当なし>-----	50	3. 計画排水系統	-----<該当なし>-----	32
	第3節 道路及び索道	-----<該当なし>-----	51	4. 計画排水量	-----<該当なし>-----	32
	1. 道路	-----<該当なし>-----	51	5. 排水対策	-----<該当なし>-----	33
	2. 索道	-----<該当なし>-----	52	6. たん水検討	-----<該当なし>-----	35
	第4節 農用地造成	-----<該当なし>-----	53	第5節 道路計画	-----<該当なし>-----	36
	1. 農用地造成工	-----<該当なし>-----	53	1. 道路及び索道	-----<該当なし>-----	36
	2. 土壌改良	-----<該当なし>-----	54	2. 路線配置図	-----<該当なし>-----	37
	第5節 洪水調整施設	-----<該当なし>-----	55	第6節 農用地造成計画	-----<該当なし>-----	38
	1. 貯水地	-----<該当なし>-----	55	1. 農用地造成計画	-----<該当なし>-----	38
	2. 頭首工及び導水路	-----<該当なし>-----	55	2. 土壌改良	-----<該当なし>-----	38
	第6節 干拓施設	-----<該当なし>-----	56	第7節 洪水調整計画	-----<該当なし>-----	39
	1. 堤防	-----<該当なし>-----	56	1. 計画基準雨量	-----<該当なし>-----	39
	2. 潮止め	-----<該当なし>-----	56	2. 計画洪水量及び調整量	-----<該当なし>-----	39
	3. 付属施設	-----<該当なし>-----	56	3. 貯水池	-----<該当なし>-----	39
	4. 埋立	-----<該当なし>-----	56	4. 洪水調節検討	-----<該当なし>-----	40
	第7節 農用地整備施設	-----<該当なし>-----	57	5. 管理計画	-----<該当なし>-----	40
	1. 区画整理	-----<該当なし>-----	57	第8節 干拓計画	-----<該当なし>-----	41
	2. 暗渠排水	-----<該当なし>-----	58	第9節 農用地整備計画	-----<該当なし>-----	42
	3. 客土	-----<該当なし>-----	59	1. 区画整理	-----<該当なし>-----	42
	4. 除礫	-----<該当なし>-----	59	2. 暗渠排水	-----<該当なし>-----	43
	5. 農地保全	-----<該当なし>-----	59	3. 客土	-----<該当なし>-----	44
	第8節 老朽ため池改修施設	-----<該当なし>-----	61	4. 農地保全	-----<該当なし>-----	44
	1. 貯水地	-----<該当なし>-----	61	第10節 老朽ため池改修計画	-----<該当なし>-----	45
	2. 堤体補強施設	-----<該当なし>-----	61	1. 洪水吐改修計画	-----<該当なし>-----	45
第6章	附帯工事計画	-----<該当なし>-----	62	2. 堤体補強計画	-----<該当なし>-----	45
第7章	工事の着手及び完了の予定時期	-----<該当なし>-----	62	3. 取水施設改修計画	-----<該当なし>-----	45
第8章	環境と調和への配慮の考え方	-----<該当なし>-----	63			

第9章	換地計画の概要	-----<該当なし>-----	64
	第1節 換地計画をする上での基本的な考え方	-----<該当なし>-----	64
	第2節 換地の設定	-----<該当なし>-----	64
	1. 換地区の名称、所在、面積	-----<該当なし>-----	64
	2. 換地区を設定する理由	-----<該当なし>-----	64
	第3節 換地計画樹立の基本方針	-----<該当なし>-----	64
	1. 従前の土地の地積の基準	-----<該当なし>-----	64
	2. 用途別予定地積	-----<該当なし>-----	65
	3. 農用地集団化の方針	-----<該当なし>-----	67
	4. 非農用地換地の方法	-----<該当なし>-----	67
	第4節 土地の評価及び精算の方法	-----<該当なし>-----	67
	1. 評価の方法	-----<該当なし>-----	67
	2. 精算の方法	-----<該当なし>-----	67
	第5節 換地計画書樹立の年度計	-----<該当なし>-----	67
	第6節 換地処分の時期に関する特則	-----<該当なし>-----	67
第10章	事業費の総額及び内訳	-----	68
第11章	効用	-----	69
第12章	関連する事業	-----<該当なし>-----	70
第13章	現況・計画平面図	-----	70
	1. 現況平面図	-----	70
	2. 計画平面図及び土地利用計画図	-----	70
	3. 主要構造図	-----	70

第1章 目 的

本地区は、南北に長く伸びる沖縄本島のほぼ中間、最もくびれた部分に位置し、東は金武湾に面し、南東は現在のうるま市中心部、南に沖縄市、西には恩納村、北には金武町の各市町村が隣接している。

本地区の受益地は「土地改良総合整備事業」にて平成2年から平成8年にかけて完了した畑作地帯である。当該地区に隣接する法面箇所は、経年変化や近年の風水害等により一部が損壊している状態が見受けられる。「農業基盤整備促進事業」平成27年～平成28年に一部法面保護工が実施されているが、今後損壊状態が拡大すると農地だけでなく、下部に位置している農業施設等にも影響がでる恐れがあり、甚大な被害が予想される。従って、現況法面の土砂崩壊防止工事を実施し、土地改良施設の保全対策を行うことで農用地被害を未然に防止する目的から、本事業による緊急な対策が必要である。

第2章 地域及び地積

第1節 地 域

(第1表)

事 業 名	地 域
農用地保全	沖縄県うるま市石川

第2節 地 積

(R5年 4月現在) (第2表)

事 業 名	現況地目	田	畑	原 野	山 林	その他	計	備 考
	市町村名	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
農用地保全	うるま市		0.65	0.01		0.32	0.98	
	計		0.65	0.01		0.32	0.98	
	計							
合 計			0.65	0.01		0.32	0.98	

第3章 現 況

第1節 気象及び海象

1. 一般気象

(第3表－1)

観測所名	沖縄気象台		かんがい期		非かんがい期		計	備 考
観測期間	1981年～2008年		1月 ～ 12月		月 ～ 月		又は平均	
平 均 気 温 (℃)			22.7 ℃		17.7 ℃		23.03 ℃	
降 水 量	平 均 (mm)		2,075.0 mm		129.4 mm		2040.9 mm	
	基 準 年 (mm)		2,515.0 mm		132.3 mm		1431 mm	年
降水日数	平 均 (日)		75.3 日		日		日	
	基 準 年 (日)		78.0 日		11.3 日		121 日	年
根 雪 期 間								
無 霜 期 間			1.3					
最 多 風 向			最大風速 (風 向)	49.5 m/s (ENE)	最多風向発生時期 最大風速発生年月日		9月～ 1月 1949/6/20	

2. 特殊気象 <該当なし>

(2－1)

(第3表－2)

観 測 所 名	第 1 位			第 2 位			第 3 位		
沖縄気象台									
観 測 期 間	数量	年月日	発生 確率	数量	年月日	発生 確率	数量	年月日	発生 確率
1980年～2004年									
最大日雨量 (mm)	469.8	59.10.16	1/513	427.0	06.11.12	1/21	411.5	99.9.22	1/8
最大時間雨量 (mm)	110.5	98.7.17	1/30	102.5	62.10.11	1/28	95.0	85.8.13	1/14
最大4時間雨量 (mm)									
最大連続雨量 (mm)	559.0	59.10.14	1/56	440.0	85.8.11	1/10	437.0	66.5.29	1/10
最大連続干天日数 (日)	58.0	83.12.29	1/114	54.0	04.10.22	1/63	53.0	91.4.3	1/55

(2－2)

(第3表－2)

観 測 所 名	第 4 位			第 5 位			備 考
沖縄気象台							
観 測 期 間	数量	年月日	発生 確率	数量	年月日	発生 確率	
S40年～H6年							
最大日雨量 (mm)	351.8	91.4.11	1/8	342.7	59.11.12	1/5	
最大時間雨量 (mm)	94.0	86.9.24	1/6	92.6	10.8.8	1/6	
最大4時間雨量 (mm)							
最大連続雨量 (mm)	437.0	61.7.19	1/10	428.0	75.6.28	1/8	
最大連続干天日数 (日)	50.0	42.12.4	1/37	45.0	89.12.1	1/18	

3. 海 象 <該当なし>

(第3表－3)

観測所名		既往最高 測 位 (m)	さく望平 均満潮位 (m)	上下弦平 均満潮位 (m)	平均潮位 (m)	上下弦平 均干潮位 (m)	さく望平 均干潮位 (m)	既往最低 潮 位 (m)	備 考
観測期間	年～ 年								
実 測 値	()							()	

第2節 土地状況

1. 地形、土壌及び浸食の程度

(2－1)

(第4表－1－1)

事業名	地 目	田					
	傾斜区分	1／1000 以下	1／1000 ～ 1／100	1／100 ～ 1／20	1／20 ～ 1／11.5	1／11.5 以上	計
農用地 保全	面積 (ha)	－	－	－	－	－	－
	比率 (ha)	－	－	－	－	－	－
	面積 (ha)	－	－	－	－	－	－
	比率 (ha)	－	－	－	－	－	－
合 計	面積 (ha)	－	－	－	－	－	－
	比率 (ha)	－	－	－	－	－	－

(2－2)

(第4表－1－1)

事業名	地 目	畑・その他						受益地標高		備考
	傾斜区分	3° 以下	3° ～ 8°	8° ～ 15°	15° ～ 20°	20° 以上	計	最 高 (m)	最 低 (m)	
農用地 保全	面積 (ha)	0.98					0.98	10.5	7.8	
	比率 (ha)	100%					100%			
	面積 (ha)							10.5	7.8	
	比率 (ha)									
合 計	面積 (ha)	0.98					0.98	10.5	7.8	
	比率 (ha)	100%					100%			

(第4表-1-2)

項目 土壤統 (区)名	土 壤 統 (区) 区 分 一 覧 表								面 積 (ha)			備 考	
	土 壤 断 面							推 積 樣 式	母 材	事 業 名			
	色	腐 植 層	礫 層	酸 化 沈 澱 物	土 性					泥炭層 黒泥層 及 び グライ層	農 用 地 保 全		計
					表土	下層土							
					一層	二層	三層						
細粒黄色 グライ相	黄色	-	-	-	-	-	-	-	-	0.98		0.98	
計										0.98		0.98	

(2-1)

<該当なし>

(第4表-1-3)

事業名	区 分	土壌の流亡率				年平均流亡速度			
		0	0～25%	25～50%	50%以上	0	3mm未満	3～5mm	5mm以上
	面積(ha)								
	比率(%)								

(2-2)

<該当なし>

(第4表-1-3)

事業名	区 分	ガリ浸食の程度		備 考
		中程度の もの	大なる もの	
	面積(ha)			
	比率(%)			

2. 土地分類

<該当なし>

(第4表-2-1)

市町村名	級地別	農 用 地 造 成										計	備 考	
		一級地	二級地				三級地			四級地				
			※	3° ～ 8°	8° ～ 12°	12° ～ 15°	※	15° ～ 20°	20° ～ 25°	25° ～ 30°	※			30° 以上
			(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)			(ha)
														※は傾斜 以外の要 因による もの
計														

<該当なし>

(第4表-2-2)

市町村名	干 拓					備 考
	一級地 (ha)	二級地 (ha)	三級地 (ha)	四級地 (ha)	計 (ha)	
計						

3. 土地利用の状況

(R5年 4月現在)

(第4表-3)

事業名	土地利用別 市町村名	耕 地						山林		採草放牧地 (ha)	原野 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
		水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	茶園 (ha)	その他の樹園地 (ha)	用材林 (ha)	薪炭林 (ha)					
農用地保全	うるま市		0.65								0.01	0.32	0.98	
	計		0.65								0.01	0.32	0.98	
	計													
合 計			0.65								0.01	0.32	0.98	

4. 土地所有の状況

(令和5年 4月現在)

(第4表-4)

事業名	所有別 区 分	国有	県有	市町村有	個人有	企業有	計	備 考
農用地保全	面積 (ha)			0.26	0.72		0.98	
	受益者数 (人)						0	
	筆数 (筆)			18	16		34	
	権利関係							
	備考(関係戸数)							
	面積 (ha)							
	受益者数 (人)							
	筆数 (筆)							
	権利関係							
	備考(関係戸数)							
合 計	面積 (ha)			0.26	0.72		0.98	
	受益者数 (人)			0	0		0	
	筆数 (筆)			18	16		34	
	権利関係							
	備考(関係戸数)							

第3節 水利状況

1. 用水状況

(1) 用水系統 <該当なし>

(2) 用水施設 <該当なし>

(ア) 取水方法一覧表

(2-1) <該当なし>

(第5表-1)

事業名	項目 施設名	かんがい面積						計	
		ha以上		～ ha		ha未満			
		箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha
	貯水池								
	井堰								
	自然取水口								
	揚水機								
	用水路								
	その他								
	計								
	計								
	合 計								

(2-2) <該当なし>

(第5表-1)

事業名	項目 施設名	水利権		慣行水利権		延べ 取水量	備 考
		m ³ /s		m ³ /s		m ³ /s	
		箇所	m ³ /s	箇所	m ³ /s	m ³ /s	
	貯水池						
	井堰						
	自然取水口						
	揚水機						
	用水路						
	その他						
	計						
	計						
	合 計						

(イ) 改修を要する施設一覧表 <該当なし>

(第5表-2)

事業名	項目 施設名	施設名 又は 箇所数	受益面積 (ha)	構 造	規 模	新設年 又は 更新年	改修を必要 とする理由	備 考
	貯水池							
	井堰							
	自然取水口							
	揚水機							
	用水路							
	その他							
	計							
	計							
	合 計							

(3) 用水に関する被害状況 <該当なし>

(ア) 用水不足による被害状況

(2-1)

(第5表-3-1)

事業名	項目 系統名	かんがい 面積 (ha)	現 況 必要水量 (千m ³)	不 足 水 量			
				かんがい期最大不足水量		かんがい期総不足水量	
				平 均 (m ³ /s)	基準年 (m ³ /s)	平 均 (千m ³)	基準年 (千m ³)
	計						
	計						
	合 計						

(2-2)

(第5表-3-1)

事業名	項目	平均減産量		備考
		(t)		
	系統名	作物名	減産量 (t)	
	計			
	計			
	合計			

(イ) その他の被害状況 <該当なし>

(第5表-3-2)

事業名	時期別	かんがい 面 積 (ha)	水温 (℃)		水質	被害量 (t)	備 考
			最 高	最 低			

(4) ため池決壊の場合の想定被害状況

(2-1) (第5表-3-3)

事業名	想定被害面積 (ha)				想定被害額 (百万円)		
	田	畑	その他	計	作物	農地	農業用 施 設
合 計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(2-2) (第5表-3-3)

事業名	想定被害額 (百万円)			備 考
	公 共 施 設	家 屋 その他	計	
合 計	0.0	0.0	0.0	

2. 排水状況

(1) 排水系統

(2) 排水施設

(ア) 排水方法一覧表 <該当なし>

(2-1) (第5表-4)

事業名	項 目 施設名		排 水 面 積					
			ha以上		～		ha未満	
			箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha
	自然	排 水 路						
		水 門						
	機 械	排 水 機						
		水門及び排水機						
		排水路及び排水機						
		計						
		計						
合 計								

(2-2) (第5表-4)

事業名	項 目 施設名		計		排水慣行	現況排水 能力	備 考
			箇所	ha	(m ³ /s)	(m ³ /s)	
	自然	排 水 路					
		水 門					
	機 械	排 水 機					
		水門及び排水機					
		排水路及び排水機					
		計					
		計					
合 計							

(イ) 改修を要する施設一覧表

(2-1) <該当なし> (第5表-5)

事業名	項 目		施設名 又は 箇所数	受益面積 (ha)	構造	規模
	施設名					
	自然	排水路				
		水門				
	機械	排水機				
		水門及び排水機				
		排水路及び排水機				
	計					
計						
合 計						

(2-2) <該当なし>

(第5表-5)

事業名	項 目		新設年 又は 更新年	改修を必要とする理由	備 考
	施設名				
	自然	排 水 路			
		水 門			
	機 械	排 水 機			
		水門及び排水機			
		排水路及び排水機			
	計				
	計				
合 計					

(3) 排水に関する被害状況

(2-1) <該当なし> (第5表-6)

事業名	項目 系統名	排水面積 (ha)	降水量 (mm)	湛 水 状 況				乾湿状況(ha)	
				湛水深 (cm)	湛水時間 (hr)	湛水面積 (ha)	湛水量 (千m ³)	田	
								乾	湿
			平均						
			基準年						
	計		平均						
			基準年						
合計			平均						
			基準年						

(2-2) <該当なし>

(第5表-6)

事業名	項目 系統名	乾湿状況(ha)				平 均 減産量		備 考
		畑		その他		作物名	減産物 (t)	
		乾	湿	乾	湿			
	計							
合計								

3. 河川状況

(1) 河川状況

(2-1) <該当なし> (第5表-7)

項目	流 路 状 況	勾 配	断 面	計 画 洪 水 量 (m ³ /s)
河 川 名				

(2-2) <該当なし> (第5表-7)

項目	既往最大洪水量 (m ³ /s)	備 考
河 川 名		

(2) 洪水に関する被害状況

<該当なし> (第5表-8)

項目	農 用 地 (百万円)	農用施設 (百万円)	作 物 (百万円)	公共施設 (百万円)	備 考
区 分					
過去の最大被害額					
平 均 被 害 額					

第4節 道 路 概 況

1. 道路概況

2. 主要道路一覧表

(2-1) (第6表)

N o	路線名	管理区分別	延長 (m)	幅 員 (m)	
				全長	有効

(2-2) (第6表)

N o	構 造	改 修 の 要 否	備 考

第5節 地域農業の概況

1. 産業別就業人口

(2-1) (第7表-1)

項目	総 数	農 業	林 業	漁 業	鉱 業	建 設 業	製 造 業	電 気 給 水 ガ ス 道 路 熱 業
市町村名	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)
うるま市	62,102	1,753		370	31	8,590	3,429	520
計	62,102	1,753		370	31	8,590	3,429	520
比率(%)	100.0%	2.8%		0.6%	0.0%	13.8%	5.5%	0.8%

(2-2) (第7表-1)

項目	運 輸 通 信 業	卸 売 飲 食 小 売 業	金 融 保 険 業	不 動 産 業	サ ー ビ ス 業	公 務	そ の 他	備 考
市町村名	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	
うるま市	3,294	8,288	707	904	16,152	3,277	14,787	
計	3,294	8,288	707	904	16,152	3,277	14,787	
比率(%)	5.3%	13.3%	1.1%	1.5%	26.0%	5.3%	23.8%	

(令和2年 国勢調査)

2. 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専業別農家数

(3-1)

(第7表-2)

区分 市町村名	農家 総戸数	経営耕地広狭別農家数(戸)							
		例外規定 の適用を 受けるもの	0.3 ～ 0.5	0.5 ～ 1.0	1.0 ～ 1.5	1.5 ～ 2.0	2.0 ～ 3.0	3.0 ～ 5.0	5.0 ～ 10.0
うるま市	654	98	65	103	34	14	17	17	9
計	654	98	65	103	34	14	17	17	9
比率(%)	100.0%	15.0%	9.9%	15.7%	5.2%	2.1%	2.6%	2.6%	1.4%

(第51次農林水産統計年報)

(3-2)

(第7表-2)

区分 市町村名	経営耕地広狭別農家数(戸)			1戸当たり平均 農用地面積(ha)					
	10.0 ～ 20.0	20.0 ha 以上	自給的 農家	田	畑	樹園地	小計	草地	計
うるま市	1	1	295	0.4	1.2	0.6	2.2	0.9	3.1
計	1	1	295	0.4	1.2	0.6	2.2	0.9	3.1
比率(%)	0.2%	0.2%	45.1%	13%	39%	19%	71%	29%	100%

(農林業センサス2020)

(3-3)

(第7表-2)

区分 市町村名	耕 地 の 分散状況		専 兼 業 別 農 家 数 (戸)			備 考
	一戸当 り団地数	団地当 り面積 (ha)	専業	兼 業		
				第一種	第二種	
うるま市	-	-	216	64	94	
計	-	-	216	64	94	
比率(%)	-	-	58%	17%	25%	

(第49次農林水産統計年報)

3. 動力農機具及び主要家畜頭数

(3-1)

(第7表-3)

項目 市町村名	動力農機具							
	トラクター		動力田植え機		コンバイン			
	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)
うるま市	152	115	0	0	4	4		
計	152	115	0	0	4	4		
100戸当たり 数量(台、頭)	132.2		0.0		100.0			
利用戸数 割合(%)								

(2015センサス)

(3-2)

(第7表-3)

項目 市町村名	主要家畜							
	乳用牛		肉用牛		産卵鶏		豚	
	数量 (頭)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)
うるま市	123	9	X	98	X	1	X	6
計	123	9	X	98	X	1	X	6
100戸当たり 数量(台、頭)	0.14							
利用戸数 割合(%)								

X:極端に数値が低く、秘密保持の観点から表示されない。

(3-3)

(第7表-3)

項目 市町村名	備考
うるま市	
計	
100戸当たり 数量(台、頭)	
利用戸数 割合(%)	

(2020センサス)

4. 主要作物付状況

(2-1)

(第7表-4)

市町村名			うるま市		計		平均	
総耕地面積(ha)			741		741			
総本地面積(ha)								
区 分 作 物 名			作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10a)
田	表 作							
	裏 作							
	小 計							
畑	基幹	さとうきび	200	4,991			200	4,991
	小 計		200					
樹園地								
	小 計							
計								
市町村別延べ作付率(%)								

(第51次農林水産統計年報)

(2-2)

(第7表-4)

市町村名			作 付 率 (%)	備 考
総耕地面積(ha)				
総本地面積(ha)				
区 分				
作 物 名				
田	表 作			
	裏 作			
	小	計		
畑	基幹	さとうきび	27.0%	
	小	計		
樹園地				
	小	計		
計				
市町村別延べ作付率(%)				

(第51次沖縄水産統計年報)

5. 農業の動向

(2-1)

(第7表-5)

区 分 \ 項 目	農 家			土 地			主 要 作 物		
		B	A		B	A	作物名	B	A
変化の状況 (C年を100 とする指数)	総農家数	66.0	-	耕地	67.0	73.0	さとうきび	71.0	55.0
	専業農家	63.0	-	田	29.0	76.0			
	第一種兼業 農 家 数	52.0	-	畑	67.0	73.0			
	第二種兼業 農 家 数	48.0	-	樹園地	58.0	68.0			
	農 業 従事者数	73.0	68.0						
変化の理由									

(2-2)

(第7表-5)

区 分	項 目	大 家 畜			動力農機具			地域指定等	備 考
		家畜名	B	A	農機具名	B	A		
変化の状況 (C年を100 とする指数)	乳牛用	-	61.0	トラクター	40.0	-			A: 令和2年 (2020)
	牛肉用	7.1	17.9	動力防 除機	-	-			B: 平成27年 (2015)
	豚肉用	67.4	40.7	コンバイン	16.0	-			C: 平成22年 (2010)
	排卵鶏	-	-						
変化の理由									

(2010年 ~ 2020年世界農林業センサス)

第6節 地域環境の状況

(1) 石川前田第2地区の環境概要

本地区は、沖縄本島中央部の東海岸、金武湾に面し、北側には標高204mの石川岳が位置し、市街地や農耕地の立地する平野を取り巻くように丘陵・大地が広がっている。農業はサトウキビ、花卉を中心とした畑作地帯である。

(2) うるま市の環境概要

(第7表-6)

環境要素		項目		特記事項・概略説明	
自然環境	植物	貴重種	群 落	1 種	クボウ城のタブノキ群落
	動 物	哺乳類	貴重種	2 種	ワタセジネズミ、オリイオオコウモリ
		鳥類	貴重種	4 種	リュウキュウミ、コアシ'サシ、ビ'ニアシ'サシ、エリ'クロアシ'サシ
		爬虫類	貴重種	3 種	ハイ、クロイトカゲ'モト'キ、アマミタカチホヘビ
		両生類	貴重種	1 種	イボ'イモリ
		昆虫類	貴重種	種	
		甲殻類	貴重種	種	
淡水魚類	貴重種	3 種	タイワンキンギョ、沖縄のメダカ、沖縄のウナギ		
法的規制	自然環境保全に関する規制	自然公園地域			・該当 有 (無)
		自然環境保全地域			該当なし
		鳥獣特別保護地区			該当なし
		風致地区			前原風致地区(昭和61年6月24日)
	文化財保護に関する指定	史 跡	・国指定 4 件	・県指定 2 件	・市町村指定 件
		名 勝	国指定	該当なし	
			県指定	該当なし	
			市町村指定	該当なし	
		天然記念物	国指定	該当なし	
			県指定	1件:チャーン	
			市町村指定	該当なし	
		埋蔵文化財包蔵地			伊波城址北西遺跡、古我地原貝塚、石川貝塚、他138件
	土地利用に関する規制	農業復興地域	5,509	ha	
		農用地区域	1,865	ha	
		森林地域	1,464	ha	
		地域森林計画対象民有林	1,159	ha	
保安林		171	ha		
水利利用状況	河川区域(二級河川)			石川川、天願川、川崎川、	
	河川区域(準用河川)			ヌーリ川、川崎川、米原川、	
	湧水・井戸				

沖縄県土地利用規制現況図 説明書(令和5年3月 沖縄県)

第4章 一般計画

第1節 事業計画の要旨

1. 要旨

本地区の受益地は「土地改良総合整備事業」にて平成2年から平成8年にかけて完了した畑作地帯である。当該地区に隣接する法面箇所は、経年変化や近年の風水害等により一部が損壊している状態が見受けられる。「農業基盤整備促進事業」平成27年～平成28年に一部法面保護工が実施されているが、今後損壊状態が拡大すると農地だけでなく、下部に位置している農業施設等にも影響がでる恐れがあり、甚大な被害が予想される。従って、現況法面の土砂崩壊防止工事を実施し、土地改良施設の保全対策を行うことで農用地被害を未然に防止する目的から、本事業による緊急な対策が必要である。

2. 事業別面積

(2-1) (第8表)

事業名 土地利用区分	農用地保全				
	田	普通畑	原野	山林	小計
事業目的	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)
土砂崩壊防止		0.65		0.01	0.66
計		0.65		0.01	0.66

(2-2) (第8表)

事業名 土地利用区分	農用地保全					小計	計	備考
	その他							
事業目的	(ha)	(ha)				(ha)	(ha)	
土砂崩壊防止	0.32					0.32	0.98	
計	0.32					0.32	0.98	

第2節 営農計画及び土地利用計画

1. 営農計画の概要

本地区の法面箇所は、経年変化や近年の風水害等により一部が損壊している状態が見受けられる。一部に法面保護工が実施されているが、今後損壊状態が拡大すると農地だけでなく、下部に位置している農業施設等にも影響がでる恐れがあり、甚大な被害が予想される。従って、現況法面の土砂崩壊防止工事を実施し、土地改良施設の保全対策を行うことで農用地被害を未然に防止する目的から、本事業による緊急な対策が必要である。

2. 土地利用区分

(2-1) (第9表－1)

事業名	土地利用区分	田	普通畑	牧草畑	果樹園	茶園	小計
		(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)
農用地保全	現況		0.65				0.65
	計画		0.65				0.65
	現況						
	計画						
計	現況		0.65				0.65
	計画		0.65				0.65

(2-2) (第9表－1)

事業名	土地利用区分	原野	山林	その他	計	備考
		(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
農用地保全	現況		0.01	0.32	0.98	
	計画		0.01	0.32	0.98	
	現況					
	計画					
計	現況		0.01	0.32	0.98	
	計画		0.01	0.32	0.98	

3. 作付方式

(第9表－2)

事業名	項目	経営類型	土地利用区分	1年目												備考
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
農用地保全	現	キャベツ	畑				◎	◎	◎	◎						
		サヤインゲン	ハウス				◎								◎	
		キク	畑	◎	◎	◎	◎	◎								
	況															
	画															

△:定植 ◇:追肥 V:仮植
◎:収穫 ●:種

4. 生産計画 <該当無し>

(2-1) (第9表-3)

事業名	項目		作物名	作 付 面 積			作 付 率		単位面積当たり		
				(ha)			(%)		収量(kg/10a)		
	土地	利用区分		現況	計画	増減	現況	計画	現況	計画	増減
計											
合 計											

(2-2) (第9表-3)

事業名	項目		作物名	生 産 量 (t)			同左生産量増減の内訳 (t)		備考
	土地 利用区分			現況	計画	増減	面積増減	単位面積当たり 収量増加	
計									
合 計									

5. 労働改善計画 <該当なし>

(第9表-4)

事業名	項目 土地 利用区分	作 物 名	作付面積 (ha)	単位面積当たり労働投下量				備 考
				(hr/10a)				
				区 分	現 況	計 画	増 減	
				人 力				
				機械力				
				人 力				
				機械力				
				人 力				
				機械力				
				人 力				
				機械力				
				人 力				
				機械力				
				人 力				
				機械力				
		計						
合	計							

6. 級地別土地利用区分 <該当なし>

(2-1) (第9表-5)

土地 利用区分	区分 級地名	農 用 地 造 成 (ha)					干 拓 (ha)		
		一級地	二級地	三級地	四級地	計	一級地	二級地	三級地
農 地	田								
	輪換耕地								
	畑								
	(普通畑)								
	(牧草畑)								
	樹園地								
	(果樹園)								
	(桑園)								
そ の 他									
計									

(2-2) <該当なし> (第9表-5)

土地 利用区分	区分 級地名	干 拓 (ha)		合 計
		四級地	計	
農 地	田			
	輪換耕地			
	畑			
	(普通畑)			
	(牧草畑)			
	樹園地			
	(果樹園)			
	(桑園)			
そ の 他				
計				

7. 土地配分計画

(2-1) <該当なし> (第9表-6)

項目 区分	配分戸数 (戸)	地 目 別 配 分 計 画 (ha)				
		田	輪換耕地	畑		
				普通畑	牧草畑	樹園地
増 反		()	()	()	()	()
入 植		()	()	()	()	()

(2-2) <該当なし> (第9表-6)

項目 区分	項目			備 考
			計	
増 反	()	()	()	
入 植	()	()	()	

第3節 用水計画

1. 計画基準年
- ＜該当なし＞
2. 計画かんがい方式
- ＜該当なし＞
3. 計画用水系統
- ＜該当なし＞

4. 計画用水量

- (1) かんがい用水
- (2-1) 　＜該当なし＞
- (第10表－1-1)

項目 系統名	種別	面積(ha)			水田かんがい			水田畑利用		
		事業名								
		農業 用排水 施設	計	普通畑	代かき期	面 積	一日 当たり 計画	平均 かん水 深	平均 間断日 数	面 積
				計画平均 単位用水 量 (mm/日)	計画代かき 単位用水 量 (mm/日)	(ha)	(mm/日)	(mm/日)	(日)	(ha)
計										

- (2-2) 　＜該当なし＞
- (第10表－1-1)

項目 系統名	畑地かんがい			その他		消費 水量 (m ³ /s)	損 失 率 (%)	粗用水量		備考
	平均かん水深 一日当たり計画 (mm/日)	平均 間断日数 (日)	面 積 (ha)	単位用水量 計画平均 (mm/日)	面 積 (ha)			平均 (m ³ /s)	最大 (m ³ /s)	
計										

(2) 営農飲雑用水 <該当なし>

(第10表-1-2)

区分	利用目的	対 象 面 積 (ha)			日当たり給水量		補給回数 (回)	関係戸数 (戸)	備 考
		事 業 名			単 位 給水量 (^{リットル} /日)	最 大 給水量 (^{リットル} /日)			
				計					

5. 水源計画

(1) 水利用計画 <該当なし>

(2-1) (第10表-2)

区 分	項 目	消費水量	有効雨量	純用水量	粗用水量	現況利用可能水量		
						水源名	取水地点 利用可能量	ほ場利用 可 能 量
		a (千m^3)	b (千m^3)	c = a - b (千m^3)	d = $\frac{c}{(1-a)}$ (千m^3)		e (千m^3)	f (千m^3)
	計							

(2-2) <該当なし>

(第10表-2)

区 分	項 目	不足水量		水源依存量		水源 工種	備 考
		純不足 水 量	全不足 水 量	水源名	水 量		
		g = c - f (千m^3)	h = d - e (千m^3)		(千m^3)		損失率: α
	計						

(2) 用水対策

(ア) 貯水池 <該当なし>

(2-1) (第10表-3)

項 目 貯水池名	流域面積 (km ²)		か ん が い 面 積 (ha)			純貯水量 (千m ³)
			事 業 名			
	直接	間接			計	

(2-2) <該当なし>

(第10表-3)

貯水池名	利用貯水量 (千m^3)	利用回数 (回)	最大取水量 (m^3/s)	備 考

(イ) 井堰及び自然取入口

(2-1) <該当なし>

(第10表-4)

取水 施設名	河川名	流域面積 (km^2)	か ん が い 面 積 (ha)		
			事 業 名		
					計
計					

(2-2) <該当なし>

(第10表-4)

貯水池名	取 水 量 (m^3/s)		渇水量 (m^3/s)	備 考
	最 大	平 均		
計				

(ウ) 揚水機 <該当なし>

(2-1)

(第10表-5)

項 目 名 称	水源名	か ん が い 面 積 (ha)			所要水量(m ³ /s)	
		事 業 名			最 大	平 均
				計		

(2-2)

<該当なし>

(第10表-5)

項 目 名 称	揚 水 機				備 考
	実揚程 (m)	揚水量 (m ³ /s)	台数 (台)	全揚水量 (m ³ /s)	

(エ) 用水路

(2-1)

<該当なし>

(第10表-6)

項目 名称	かんがい面積 (ha)			最大通水量 (m³/s)	延長 (km)
	事業名				
			計		
計					

(2-2)

<該当なし>

(第10表-6)

項 目 名 称	構 造	備 考
計		

(オ) その他の水源施設

(3) 水温水質

第4節 排水計画

1. 計画基準雨量 <該当なし>

2. 計画排水方式 <該当なし>

3. 計画排水系統 <該当なし>

4. 計画排水量 <該当なし>

(2-1)

(第11表-1)

項 目 取水施設名	受 益 面 積 (ha)			流域面積 (km ²)		基 準 雨 量 (mm)	降 雨 に よ る 直接単位流出量 (m ³ /s/km ²)	
	事業名			山地	平地		山地	平地
			計					
計								

(2-2)

(第11表-1)

項 目 取水施設名	基底流出量		全排水量(m³/s)		単位排水量		備考
	(m³/s/km²)		山地	平 地	(m³/s/km²)		
	山地	平地			自然排水	機械排水	
計							

(1) 排水水門 ＜該当なし＞

(1) 排水水門

＜該当なし＞

(2-1)

(第11表-2)

(2-2) ＜該当なし＞

(2-2)

＜該当なし＞

(第11表-2)

(2) 排水機

(2) 排水機

＜該当なし＞

(2-1)

(第11表-3)

(2-2) ＜該当なし＞

(2-2)

＜該当なし＞

(第11表-3)

(3) 排水路

(2-1)

＜該当なし＞

(第11表-4)

(2-2) <該当なし>

(2-2)

＜該当なし＞

(第11表-4)

- 34 -

(4) その他

6. たん水検討

＜該当なし＞

第5節 道路計画

1. 道路及び索道

(1) 道路

＜該当なし＞

(2-1)

[illegible]

(2) 索道

<該当なし>

(第12表-2)

項目 路線名	能力 (t/hr)	延長 (m)	接続道路名	備考

2. 路線配置図

<該当なし>

第6節 農用地造成計画

1. 農用地造成計画

(1) 農用地造成計画

<該当無し>

(第13表-1)

項目 土地利用区分	主要作物	自然傾斜	耕地の形状	標準区画の形状	備考

(2) 末端道水路配置図

2. 土壤改良

(2-1)

<該当無し>

(第13表-2)

項目 土地利用区分	面積 (ha)	土 壌 統 (区) 名	pH		置換酸度 (Y ₁)
			H ₂ O	KCl	

(2-2)

<該当無し>

(第13表-2)

項目 土地利用区分	りん酸吸収 係 数 (mg/100g)	ha当たり所要量			備 考
		石灰 (t)	りん酸質 資材 (t)	有機質 資材(t)	

第7節 洪水調節計画

1. 計画基準雨量

＜該当なし＞

2. 計画洪水量及び調節量

(2-1) ＜該当なし＞

(第14表-1)

地点	流域面積 (km ²)	洪水到達時間 (hr)	計画洪水量 (m ³ /s)	安全洪水量 (m ³ /s)	必要調節量 (m ³ /s)	ピーク時調節量 (m ³ /s)

(2-2) ＜該当なし＞

(第14表-1)

地点	ピーク時調節後流量 (m ³ /s)	調節後最大流量 (m ³ /s)	調節前後の最大流量の差 (m ³ /s)	備考 (m ³ /s)

3. 貯水池

(2-1) ＜該当なし＞

(第14表-2)

項目 貯水池名	流域面積(km ²)		計画洪水量 (m ³ /s)	貯水量(千m ³)		
	直接	間接		有効	洪水調節容量	他目的

(2-2) ＜該当なし＞

(第14表-2)

項目 貯水池名	計画調節流量 (m ³ /s)	可能調節流量 (m ³ /s)	備考

4. 洪水調節検討

(1) 河川改修計画との関係

＜該当なし＞

(2) 洪水調節が下流に及ぼす影響

＜該当なし＞

(3) 計画基準雨量以外の降雨についての検討

＜該当なし＞

5. 管理計画

(1) 管理機構 ＜該当なし＞

(2) ダム管理操作上の各種基準

＜該当なし＞

(3) 洪水調節要領

＜該当なし＞

第8節 干拓計画

<該当なし>

(第15表)

項目 名称	延長 (m)	計画高潮(水)位 (I.P.m)	風向及び 対岸距離 (km)	風速 (m/s)	気圧 (mb)	備考

第9節 農用地整備計画

1. 区画整理

(1) 区画の形状

<該当なし>

(第16表-1)

長辺×短辺 (m)	区画面積 (ha)	全体面積 (ha)	割合 (%)	田面差 (m)	備考
計					

(2) 表土扱い

<該当なし>

(第16表-2)

面積 (ha)	表土扱い要否の理由	扱い深 (cm)	土量 (m ³)	備考

(3) 末端道水路配置図

<該当なし>

2. 暗渠排水

(1) 暗渠排水

(2-1) <該当なし> (第16表-3-1)

項目 区分	面 積 (ha)			土壌統(区)分	基準雨量 (mm/日)	単位排水量 ($\frac{l}{s/ha}$)
	事 業 名					
			計			
計						

(2-2) <該当なし> (第16表-3-1)

項目 区分	計画後の地下 水位 (m)	集水渠出口以 下の排水方法	備 考
計			

(2) 心土破砕

<該当なし> (第16表-3-2)

項目 区分	面 積 (ha)			土壌統(区)分	土壌硬度	備 考
	事 業 名					
			計			
計						

3. 客 土

(2-1) <該当なし> (第16表-4)

項目 区分	面 積 (ha)			土壌統(区)分	減水深(mm/日)	
	事 業 名				現 況 平 均	計 画 平 均
			計			
計						

(2-2) <該当なし> (第16表-4)

項目 区分	作土の厚さ(cm)		10a当たり 客土量 (m^3)	土 壌 の 性 質		備 考
	現 況 平 均	計 画 平 均		受 益 地 ($m^3/s/ha$)	採土地(客土 材料 (%)	
計						

4. 農地保全

(1) 防災林

<該当なし> (第16表-5-1)

項目 区分	最大風速 (m/s)	幅 (m)	間 隔 (m)	備 考
計				

(2) 排水工

<該当なし> (第16表-5-2)

項目 名称	基準雨量 (mm/日)	土 性	流出率	排 水 量		備 考
				単位排水量 ($m^3/s/ha$)	全排水量 (m/s)	
計						

(3) 浸食(崩壊)防止工

<該当なし> (第16表-5-3)

項目 施設名	位 置	支配面積 (ha)	機 能	備 考
計				

第10節 老朽ため池改修計画

1. 洪水吐改修計画

(1) 計画基準雨量
＜該当なし＞

(2) 計画洪水量
＜該当なし＞

2. 堤体補強計画
＜該当なし＞

3. 取水施設改修計画
＜該当なし＞

第5章 主要工事計画

第1節 用水施設

1. 貯水池
(2-1) ＜該当なし＞ (第17表－1)

名 称	提 体 形 式	流域面積(km ²)	
		直接	間接
洪 水 吐	型 式	洪水量 (m ³ /s)	

(2-2) ＜該当なし＞ (第17表－1)

位 置	提 高 (m)	提 長 (m)	提体積 (m ³)	基盤地盤 地 質	貯水量(千m ³)		備 考
					総貯水量	有効貯水量	
取水施設	型 式	取水量 (m ³ /s)	放流施設	型 式	放流量 (m ³ /s)		

2. 頭首工
(2-1) ＜該当なし＞ (第17表－2)

名 称	提 高 (m)	提 長 (m)		位 置	取水位 (m)
		固定部	可動部		

(2-2) ＜該当なし＞ (第17表－2)

名 称	取水量 (m ³ /s)	付帯施設	備 考

(2-1) <該当なし>

(第17表-3)

項目 名稱	位置	揚水量 (m^3/s)	揚程 (m)		形式
			全揚程	實揚程	

項目	掛
----	---

(第17表-3)

項目 名 稱	揚水機		原動機			備 考
	口徑 (mm)	台數 (台)	形式	動力 ()	台數 (台)	

(2-1) <該当なし>

(第17表-4)

項 目	かんがい面積(ha)			通水量 (m ³ /s)	延長(km)		
	事 業 名				開きよ	トンネル その他	計
	農業用排水施設		計				
水路名							
計							

[illegible]

(第17表-4)

項 目	構 造	勾 配	主要構造物	備 考
水 路 名				
計				

1. 排水水門

(第18表-1)

(2-2) <該当なし> (第18表－1)

2. 排水機

(第18表-2)

(2-2) <該当なし>

(第18表-2)

3. 排水路

(第18表-3)

(2-2) <該当なし>

(第18表—3)

第3節 道路及び索道

1. 道路

(1) 道路の総括表

(2-1) <該当なし> (第19表－1)

項目 区分	路線名	幅(有効)(m) ×延長 (km)	構 造	付帯構造物		
				名称	構造	名称 (個所)
計						

(2-2) <該当なし> (第19表－1)

項目 区分	路線名	最 急 こう配 (%)	同左の 延 長 (m)	最小曲線 半 径 (m)	備 考
計					

(2) 道路主要構造物

<該当なし> (第19表－2)

項目 路線名	名 称	規模構造	延 長 (m)	箇所数 (箇所)	備 考

2. 索道

<該当なし> (第19表－3)

項目 名称	延 長 (m)	高 低 差 (m)	能力 (t/hr)	原動機		備 考
				形 式	動 力 ()	

第4節 農用地造成

1. 農用地造成

(1) 抜根

<該当無し>

(第20表-1)

項目	樹種	樹径 (cm)	ha当たり本数 (本/ha)	面積 (ha)	工法	備考
区分						
計						

(2) 除礫

<該当無し>

(第20表-2)

項目	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m ³ /ha)	面積 (ha)	工法	備考
区分					
計					

(3) 開墾作業

<該当無し>

(第20表-3)

項目	面積	工法	備考
区分			
地目	造成工法 (ha)		
計			

(4) 地目交換

<該当無し>

(第20表-4)

項目	面積 (ha)	工法	備考
区分			
計			

(5) 末端用水路等

<該当無し>

(第20表-5)

項目	数量	規模	構造	備考
区分				
計				

(6) 末端排水路等

<該当無し>

(第20表-6)

項目	数量	規模	構造	備考
区分				
計				

2. 土壌改良

<該当無し>

(第20表-7)

項目	面積 (ha)	石灰量 (t)	りん酸質資材量 (t)	有機質資材量 (t)	備考
区分					
計					

第5節 洪水調整機能

1. 貯水池

<該当なし>

2. 頭首工及び導水路

(1) 頭首工

(2-1) <該当なし> (第21表-2)

名 称			位 置		
			提 長 (m)		
形 式	集水面積 (km ²)	提 高 (m)	固定部	可動部	計

(2-2) <該当なし> (第21表-2)

名 称			備考
	計画洪水位	付帯施設	
形 式	(m)		

(2) 導水路

(2-1) <該当なし> (第21表-3)

水路名	項目 通水量 (m ³ /s)	延 長 (m)		
		トンネル	その他	計

(2-2) <該当なし> (第21表-3)

水路名	項目 構 造	勾 配	備 考

第6節 干拓施設

1. 堤防

(2-1) <該当なし> (第22表-1)

名 称	項目 型 式	延 長 (m)	構 造		
			堤頂標高 (m)	盛土幅 (m)	盛土標高 及び舗装

(2-2) <該当なし> (第22表-1)

名 称	項目 構 造	原地盤標高(m)		備 考
		上流斜面	下流斜面	

2. 潮止め

(2-1) <該当なし> (第22表-2)

名 称	項目 工 法	幅 員 (m)	敷高標高 (m)	潮止め堤標高 (m)

(2-2) <該当なし> (第22表-2)

名 称	項目 最大流速 (m)	床固め構造	備 考

3. 付属施設

<該当なし>

4. 埋立

<該当なし> (第22表-3)

区 分	項目 面積 (ha)	埋立標高 (m)	埋立標高 (m ³)	施工方法	構 造

第7節 農用地整備施設

1. 区画整理

(1) 区画整理 <該当なし>

(第23表-1)

工 区 名	面 積 (ha)	整 地 工		表 土 扱 い		備 考
		標準区画	土 量 (m ³)	面 積 (ha)	土 量 (m ³)	
計						

(2) 末端用水路等

<該当なし>

(第23表-2)

区 分	項 目	数 量	規 模	構 造	備 考
計					

(3) 末端排水路等

<該当なし>

(第23表-3)

区 分	項 目	数 量	規 模	構 造	備 考
計					

2. 暗渠排水

(1) 暗渠排水

(3-1)

<該当なし>

(第23表-4-1)

区 分	項 目	面 積 (ha)		集 水 渠			
		事 業 名					
			計	勾配	管種	管径 (mm)	延長 (m/ha)
計							

(3-2)

<該当なし>

(第23表-4-1)

区 分	項 目	排 水 渠					
		勾配	管種	管径 (mm)	深さ (m)	間隔 (m)	延長 (m/ha)
							名称
計							

(3-3)

<該当なし>

(第23表-4-1)

区 分	項 目	集水渠出口以下の排水施設		備 考
		構造	数量 (m/ha)	
計				

(2) 心土破碎

<該当なし>

(第23表-4-2)

区 分	項 目	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m ³ /ha)	面 積 (ha)	工 法	備 考
計						

3. 客土

(2-1) <該当なし> (第23表-5)

区 分	項 目	面 積 (ha)		客入土量 (m ³)	土取場土量 (m ³)	運搬距離 (km)
		事 業 名				
			計			
計						

(2-2) <該当なし> (第23表-5)

区 分	項 目	運搬方法	備 考
計			

4. 除礫

<該当なし> (第23表-6)

区 分	項 目	対象土層の 厚さ (cm)	ha当たり標準 除礫量 (m ³ /ha)	面 積 (ha)	工 法	備 考
計						

5. 農地保全

(1) 防災林

(2-1) <該当なし> (第23表-7)

区 分	項 目	幅 (m)	延 長 (m)	面 積 (ha)	樹 種
計					

(2-2) <該当なし> (第23表-7)

区 分	項 目	植 栽 本 数 (本)	備 考
計			

(2) 排水路

<該当なし> (第23表-8)

区 分	項 目	延 長 (m)	流 量 (m ³ /s)	構 造	備 考
計					

(3) 浸食防止工

<該当なし> (第23表-9)

名 称	項 目	構 造	数 量	備 考
計				

第8節 老朽ため池改修施設

1. 貯水池

＜該当なし＞ (第24表)

名称					位置			
提体	形式	流域 (km ²)	提高 (m)	提 長 (m)	提体積 (m ³ /s)	提頂幅 (m)	貯水量 (千m ³)	備 考
洪水吐	形式	洪水量 (m ³ /s)	規模 (m)	備 考	取水 施設	形式	取水量 (m ³ /s)	備 考

2. 提体補強施設

(1) のり面崩壊防止工 ＜該当なし＞

(2) 排水路工 ＜該当なし＞

第 6 章 附帯工事計画

＜該当なし＞

第 7 章 工事の着手及び完了の予定時期

着手	令和	7	年度
完了	令和	11	年度

第8章 環境と調和への配慮

1.事業計画における配慮

事業計画の策定に当たっては、現地調査結果を十分に反映させた環境への配慮に努めた計画を策定するものとする。

2.工事実施における配慮

工事実施に当たっては、環境への負荷を最小限に抑えるための工法を検討し、地区外への影響が出ないように留意して施工を行う。また、工事期間中は、「赤土等流出防止条例」に基づいて、沈砂池等の設置、降雨時のシート被覆等により赤土等流出防止対策を重点的に行う。

3.貴重な動植物、文化財及び景観への配慮

貴重な動植物、文化財及び名勝地等は本地区には確認されていない。

第9章 換地計画の概要

第1節 換地計画を作成する上での基本的な考え方

＜該当なし＞

第2節 換地区の設定

1. 換地区の名称、所在、面積

＜該当なし＞

(第25表－1)

換地区名	換地区の所在	面積 (ha)

2. 換地区を設定する理由

＜該当なし＞

第3節 換地計画樹立の基本方針

1. 従前の土地の地積の基準

＜該当なし＞

(第25表－2)

換地区名	地積の基準

2. 用途別予定地積

(4-1) <該当なし> (単位:ha) (第25表-3)

換地区名 前後		用途 (取得予定者)	非農用地区域外に換地する土地						
			田	畑	山林・原野	その他	通常事業施工地域に含める土地(令第1条の9()書き)		
							土地改良施設	その他	小計
	従前の土地								
	換地								
合計	従前の土地								
	換地								

(4-2) <該当なし> (単位:ha) (第25表-3)

換地区名 前後		用 途 (取得予定者)		非農用地区域に換地する土地					
		本事業によって生ずる土地改良 施設用地			創 設 農用地	合 計	特定用途用地		
		改良区	その他	計			宅地	その他	計
	従前の 土地								
	換地								
合 計	従前の 土地								
	換地								

(4-3) <該当なし> (単位:ha) (第25表-3)

換地区名 前後		用 途 (取得予定者)	非農用地区域に換地する土地						
		異種目換地	創設非農用地					合計	国
			農業経営 合理化施 設用地	生活上・ 経営上必 要な施設 用地	公用・公 共用施設 用地	宅地等	計		
	従前の 土地								
	換地								
合 計	従前の 土地								
	換地								

(4-4) <該当なし> (単位:ha) (第25表-3)

換地区名 前後		用 途 (取得予定者)	機能交換に係る土地			一般 国公有地	総 合 計
			県	市町 村他	合 計		
	従前の 土地						
	換地						
合 計	従前の 土地						
	換地						

3. 農用地集団化の方針

<該当なし>

(第25表-4)

区 分	地帯別、グループ別 団地の設定	個 人 別 換 地 の 方 法		
		位置の選択方法	1戸当たり目標団地数	区画畦畔の取扱い
換地地区				

4. 非農用地換地の方法

(2-1)

<該当なし>

(第25表-5)

区 分	用途	非農用地区域の位置の概略	面 積 (m2)	換地の手法
換地地区				

(2-2)

<該当なし>

(第25表-5)

区 分	換地取得予定者	その他
換地地区		

第4節 土地の評価及び清算の方法

1. 評価の方法 <該当なし>

2. 清算の方法 <該当無し>

第5節 換地計画書樹立の年度計画

<該当無し>

(第25表-6)

区 分	一時利用地の 指定予定年度	換地計画の 決定予定年度	換地処分 予定年度	備 考
換地地区				

第6節 換地処分の時期に関する特則

<該当無し>

第10章 事業費の総額及び内訳

(第26表)

事 業 名		ため池等整備 (百万円)	備 考
区 分	主 要 工 事	465	令和6年度単価
	附 帯 工 事		
	計	465	
	関連事業 (参考)		
	国営		
	都道府県営		
	団体営	110	

第 1 1 章 効 用

(第27表)

事業名	効 果 区 分		年総効果(便益) 額 (千円)	年増加農業所 得額 (千円)	備 考
農 用 地 保 全	食料の安定供給の確保に関する効果	作物生産効果			
		品質向上効果			
		営農経費節減効果			
		維持管理費節減効果	△ 250	△ 250	
		営農に係る走行経費節減効果			
	農業の持続的発展に関する効果	耕作放棄防止効果			
		災害防止効果(農業)	18,020	18,020	
		農業労働環境改善効果			
	農村の振興に関する効果	災害防止効果(一般資産)	3,279		
		地域用水効果			
		一般交通等経費節減効果			
		地籍確定効果			
		国土造成効果			
		非農用地等創設効果			
	多面的機能の発揮に関する効果	災害防止効果(公共施設)	275		
		水源かん養効果			
		景観・環境保全効果			
		都市・農村交流促進効果			
		その他効果(赤土等流出防止効果)			
		人命保護効果	5,918		
	合	計	27,242	17,770	

区分	算定式	数値	備考
総費用(現在価値化)	③=①+②	416,175 千円	
当該事業による費用	①	378,546 千円	
その他費用(関連事業費＋資産価額＋再整備費)	②	37,629 千円	
年償還額	④	- 千円/年	
うち機能向上分	④'	- 千円/年	
年総効果(便益費) 額	⑤	27,242 千円	
現況年総農業所得額	⑥	969 千円	
年増加農業所得額	⑦	17,770 千円	
評価期間(当該事業の工事期間＋50年)		55 年	
割引率		0.04	
総便益額(現在価値化)	⑧	503,470 千円	
総費用総便益比	⑨=⑧/③	1.20	
総所得償還率	⑩=④/⑥×100	- %	
増加所得償還率	⑪=④'/⑦×100	- %	

第 1 2 章 関連する事業

(第28表)

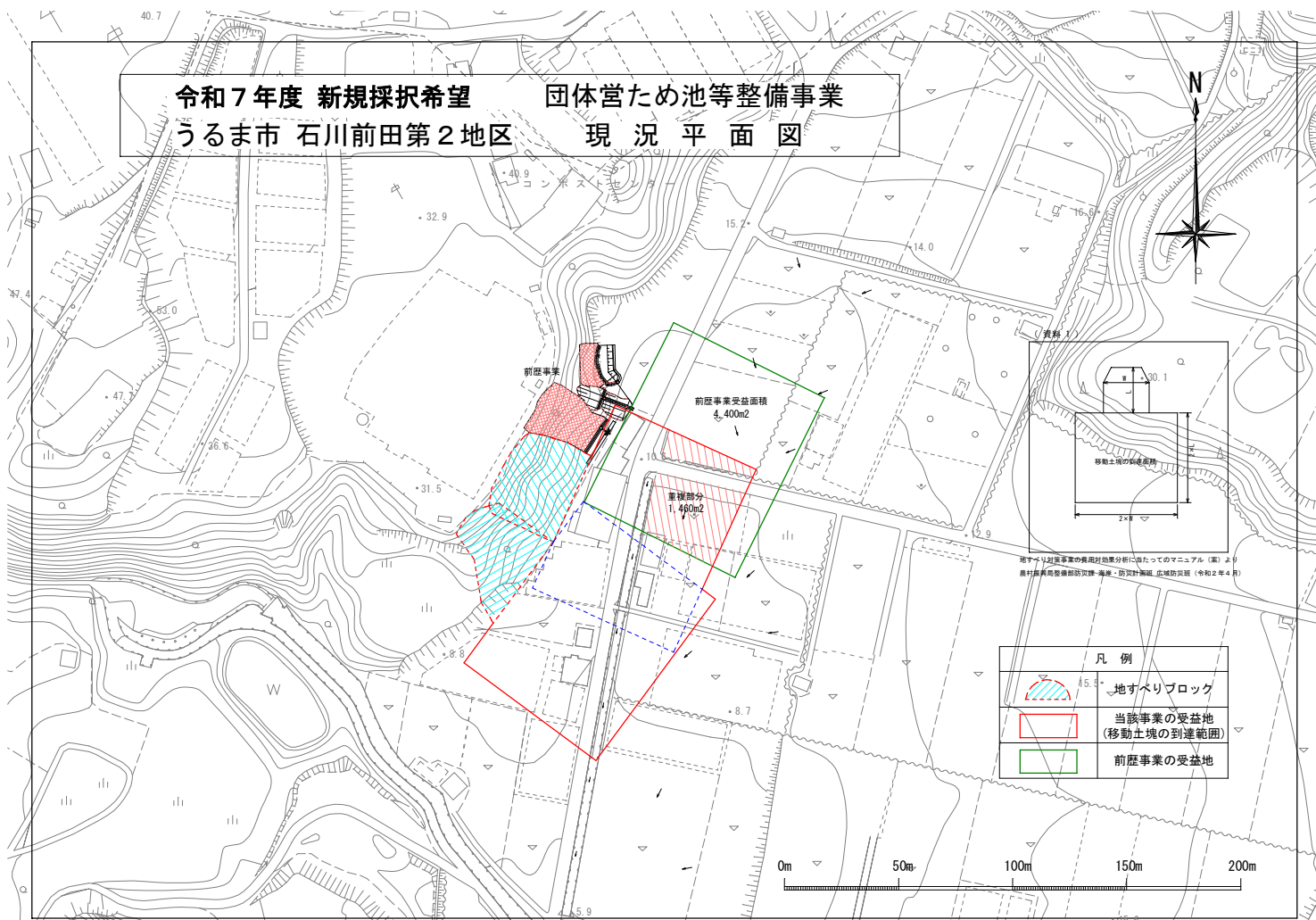
区 分	事 業 名	事業主体	受 益 面 積 (ha)	事 業 内 容
同 種	農業基盤整備促進事業	うるま市	0.44ha	法面保護工

第 1 3 章 現況・計画平面図

1. 現況平面図
別紙参照
2. 計画平面図
別紙参照
3. 主要構造図
別紙参照

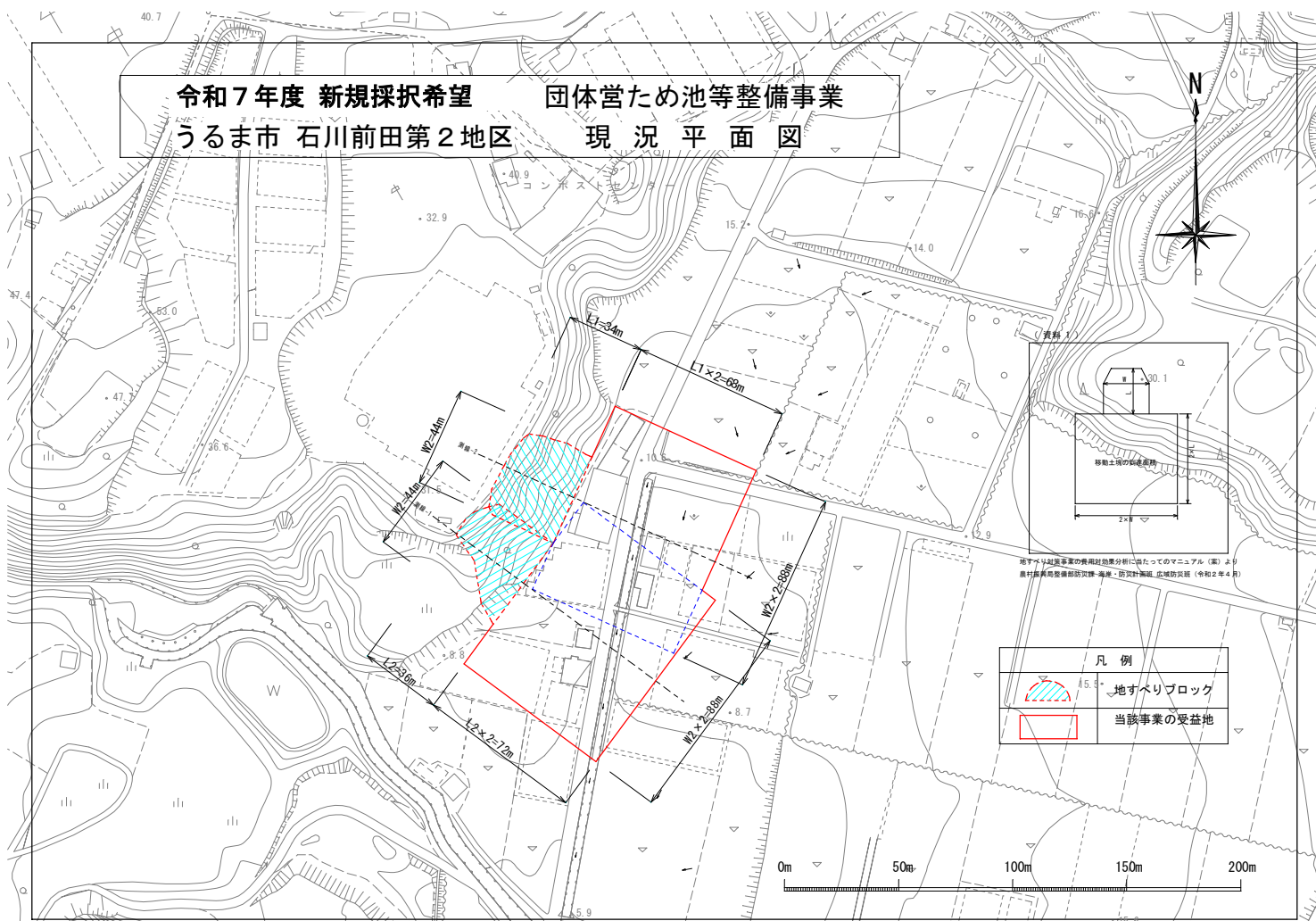
令和7年度 新規採択希望
うるま市 石川前田第2地区

団体営ため池等整備事業
現況平面図



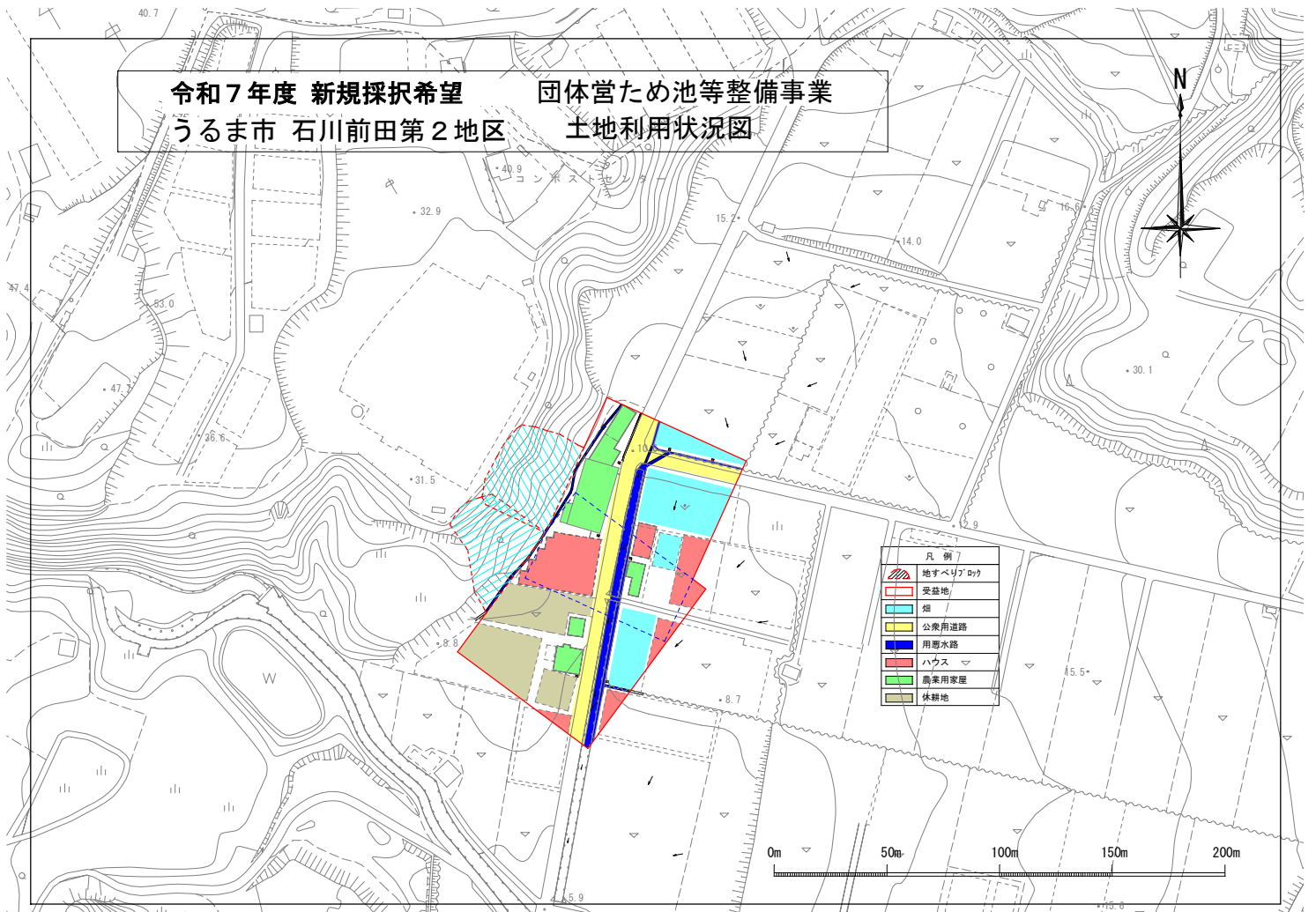
令和7年度 新規採択希望
うるま市 石川前田第2地区

団体営ため池等整備事業
現況平面図



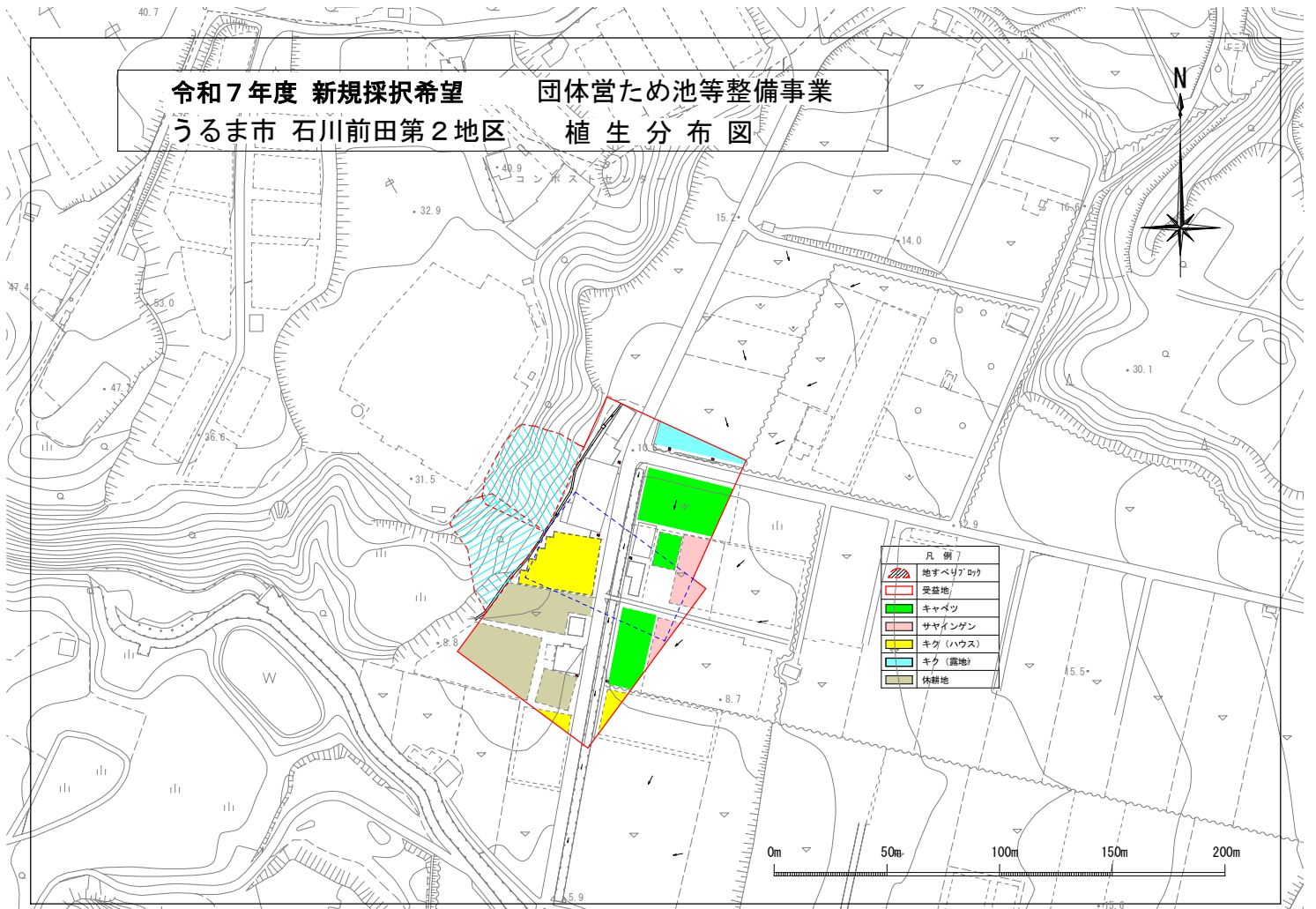
令和7年度 新規採択希望
うるま市 石川前田第2地区

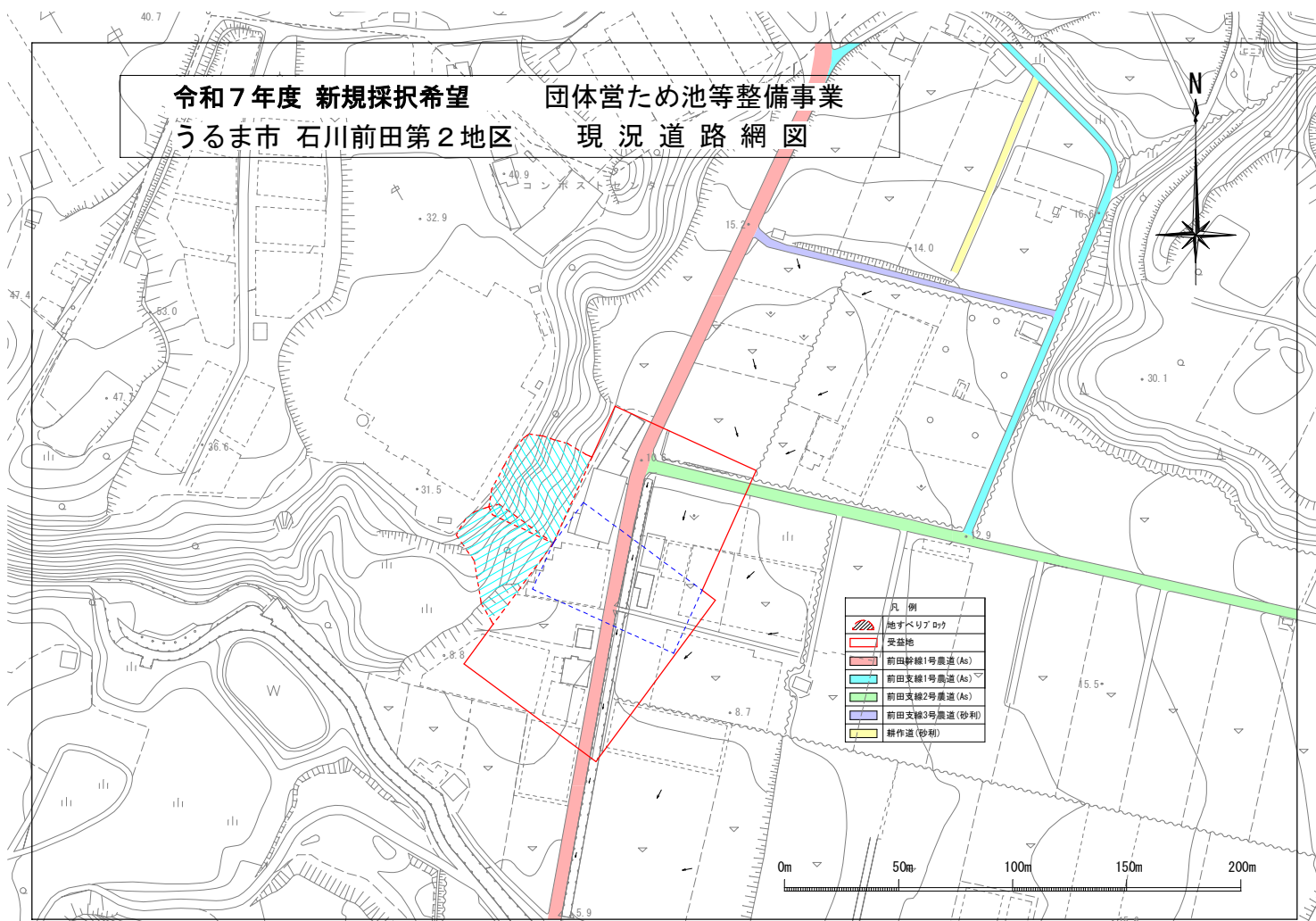
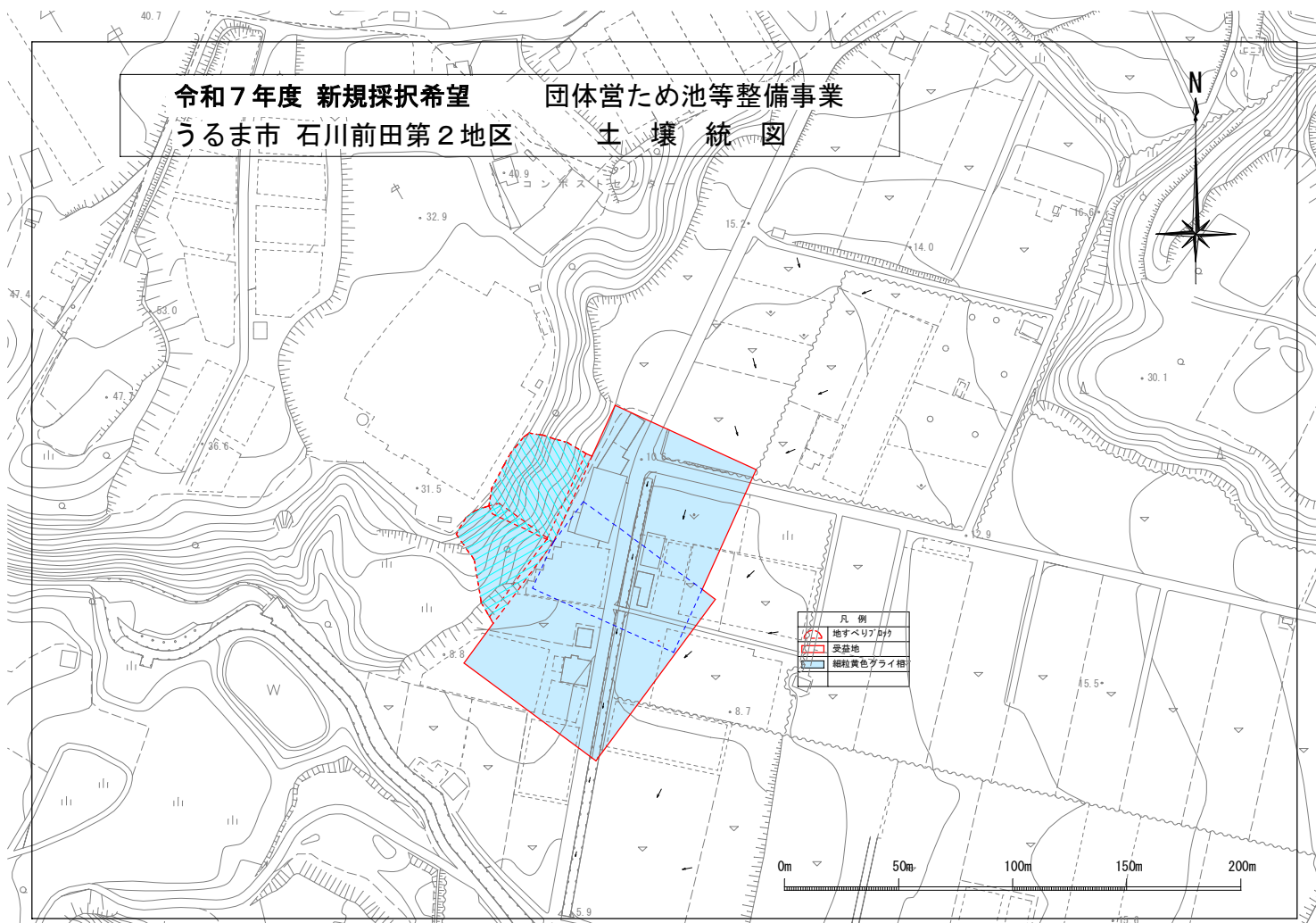
団体営ため池等整備事業
土地利用状況図



令和7年度 新規採択希望
うるま市 石川前田第2地区

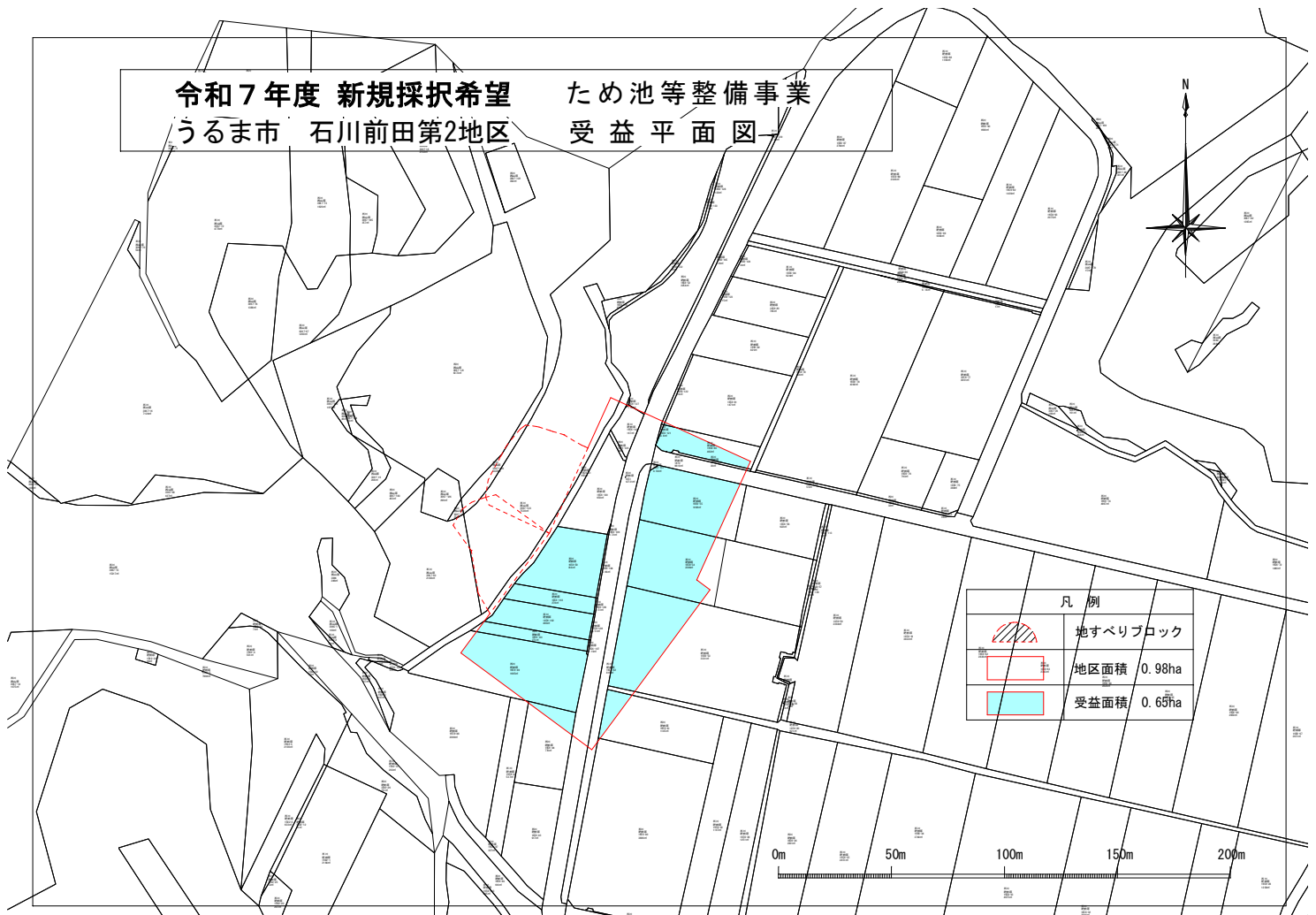
団体営ため池等整備事業
植生分布図





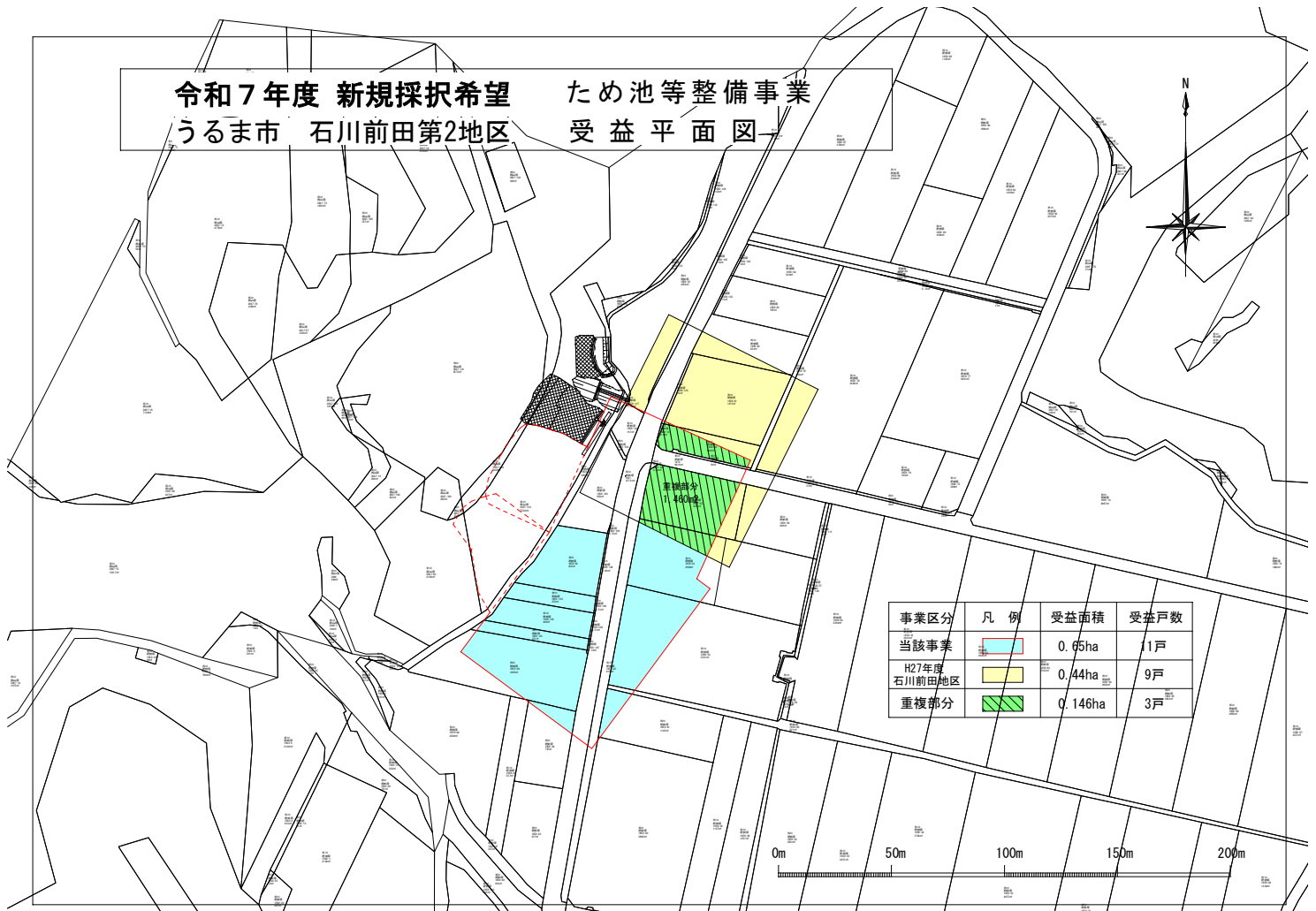
令和7年度 新規採択希望
うるま市 石川前田第2地区

ため池等整備事業
受益平面図

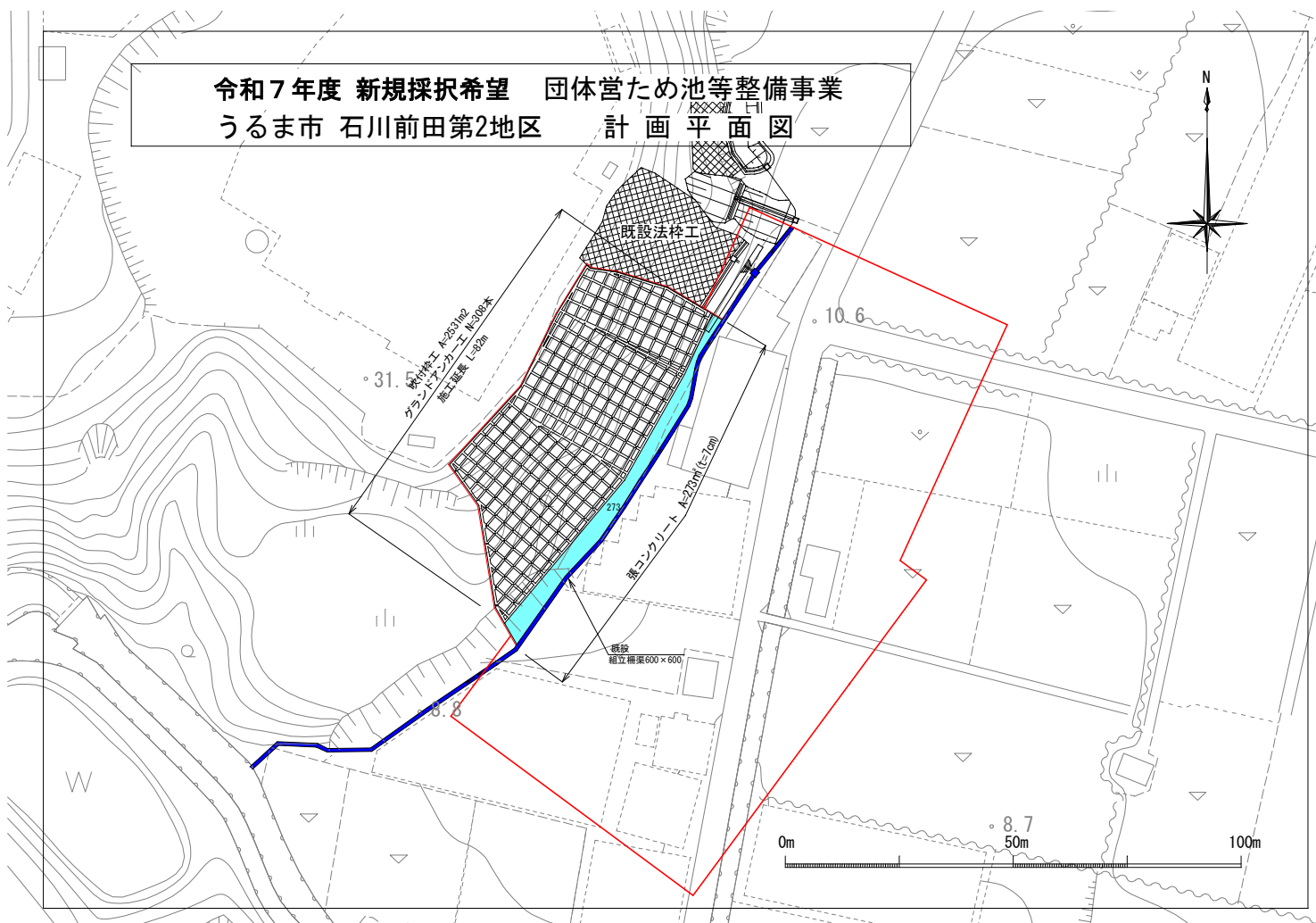


令和7年度 新規採択希望
うるま市 石川前田第2地区

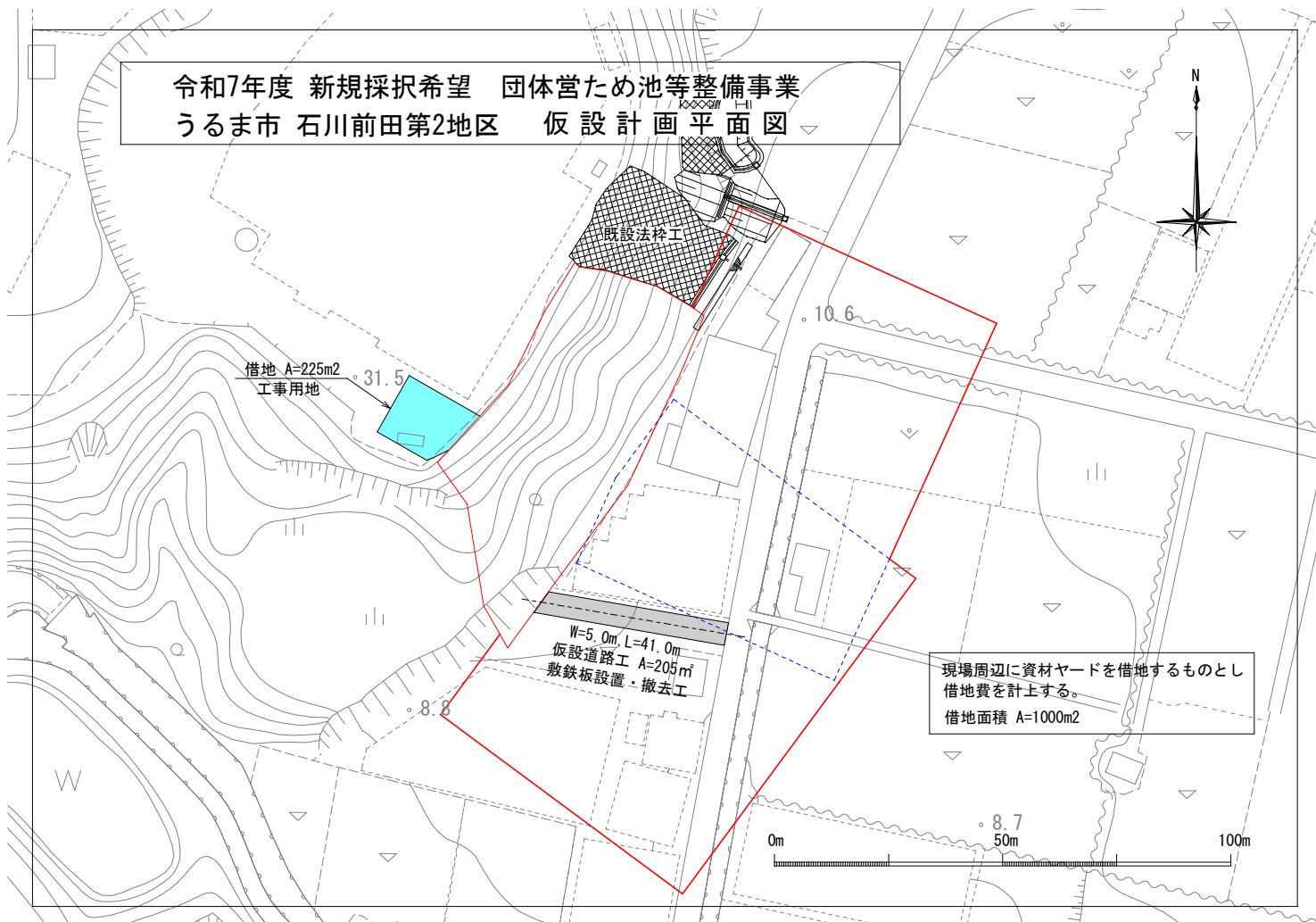
ため池等整備事業
受益平面図

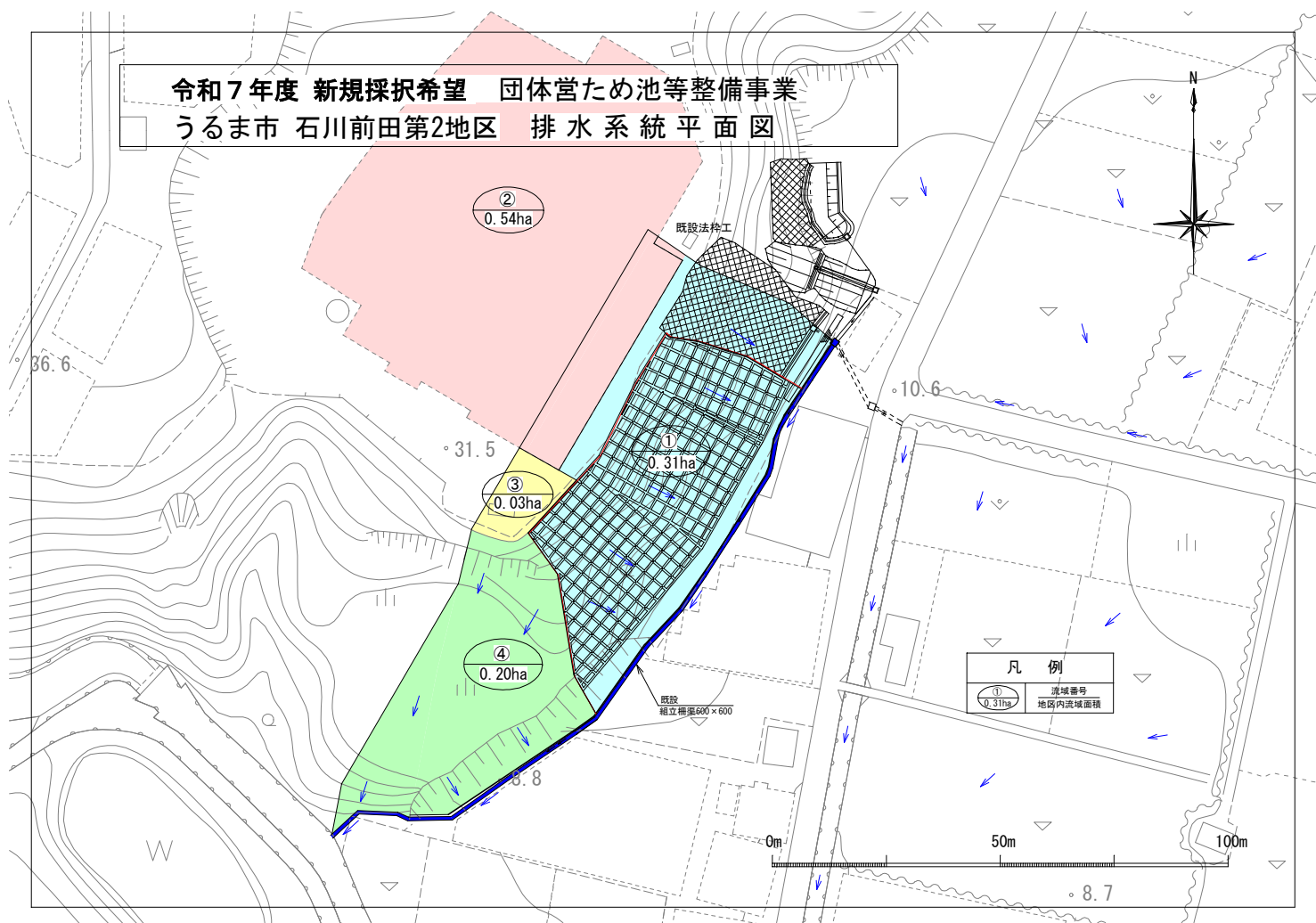


令和7年度 新規採択希望 団体営ため池等整備事業
うるま市 石川前田第2地区 計画平面図

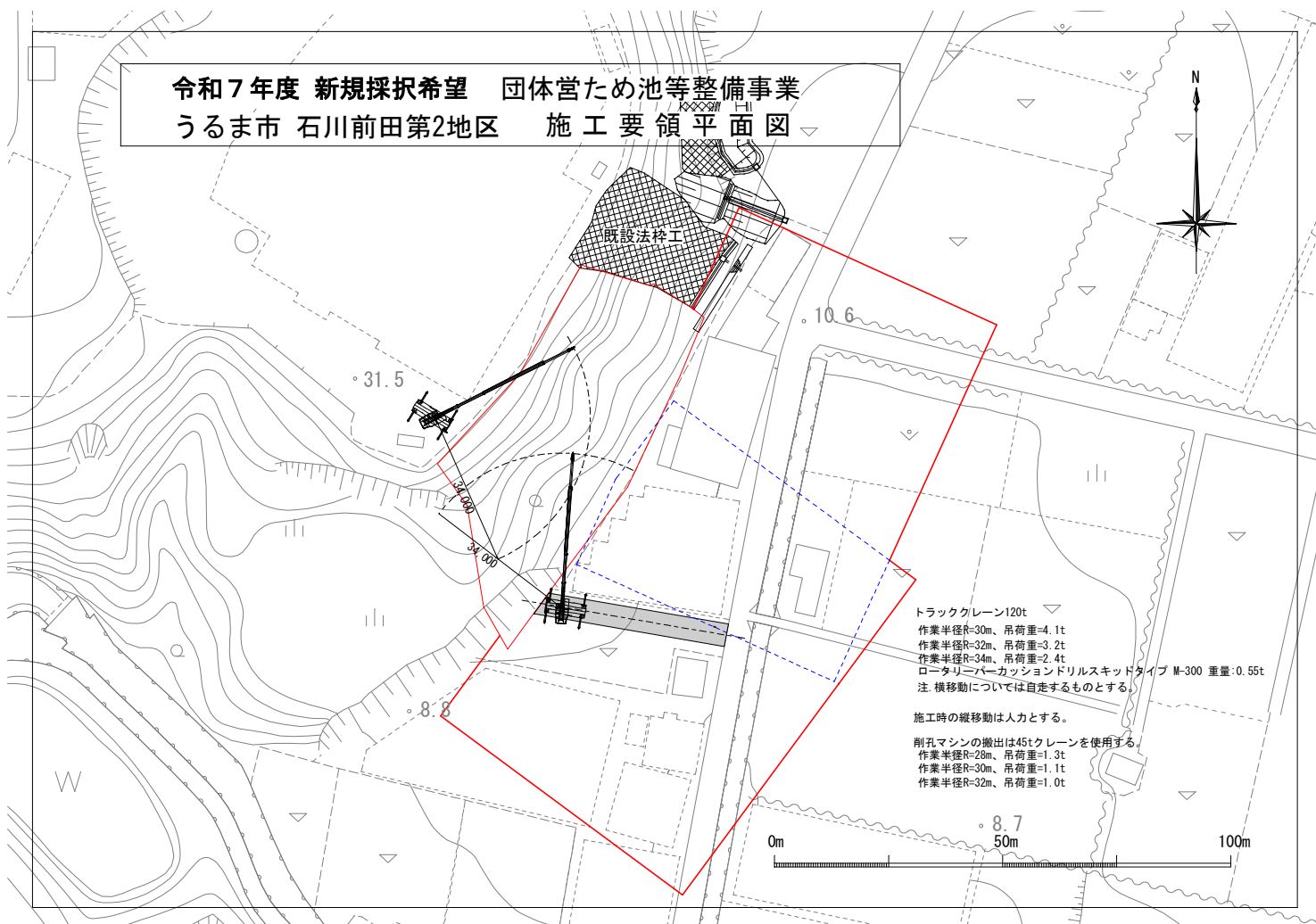


令和7年度 新規採択希望 団体営ため池等整備事業
うるま市 石川前田第2地区 仮設計画平面図

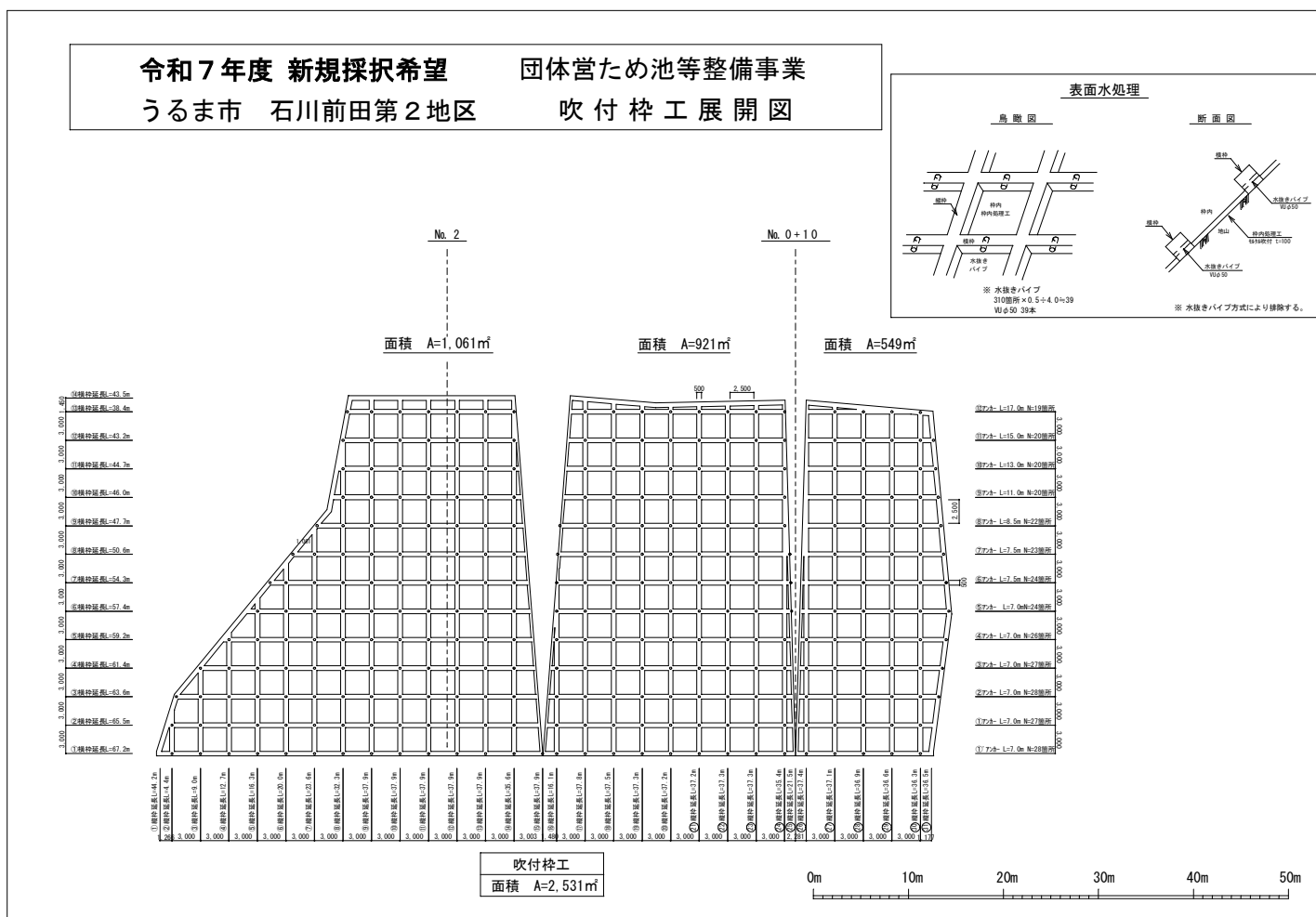




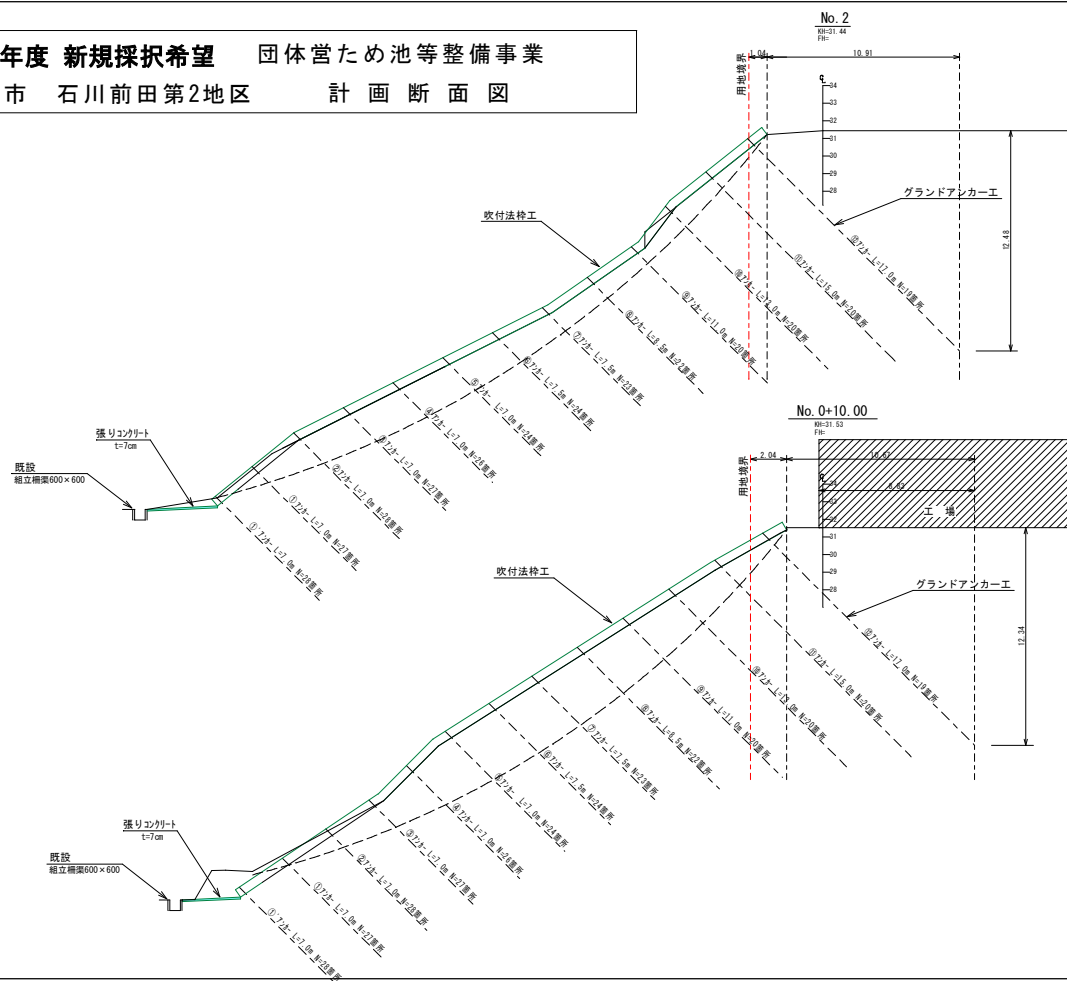
令和7年度 新規採択希望 団体営ため池等整備事業
うるま市 石川前田第2地区 施工要領平面図



令和7年度 新規採択希望 団体営ため池等整備事業
うるま市 石川前田第2地区 吹付 枠工 展開図



令和7年度 新規採択希望 団体営ため池等整備事業
うるま市 石川前田第2地区 計画断面図



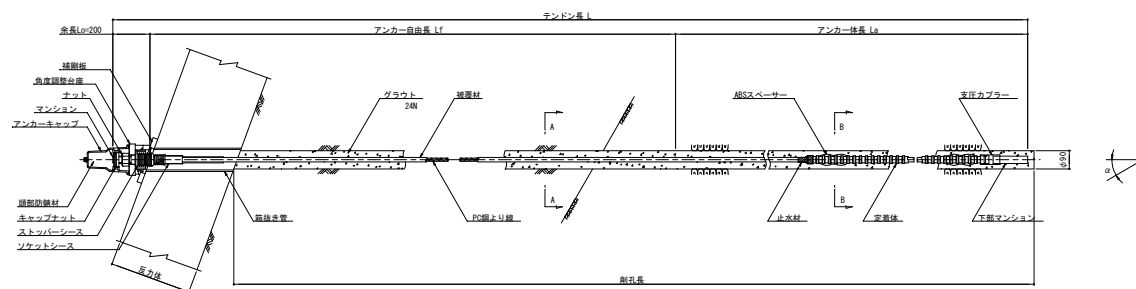
令和7年度 新規採択希望 団体営ため池等整備事業
うるま市 石川前田第2地区 主要構造図-1

グラウンドアンカー構造図

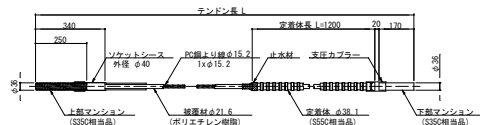
S=1:20

アンカー装置図

項目	規格	単位	数量	備 考
PC鋼より線ナット固定方式 (二重防食タイプ)	F20UA (1xφ15.2)	組	1	ポリエチレン被覆 ソケットシース付
上部マンショ	φ36 L=340	本	1	S35C精製品
下部マンショ	φ36 L=170	本	1	S35C精製品
角度調整台座	AMD-SEG-A	組	1	FDB450、重締めつき
ナット	M16	個	1	S45C
アンカーキャップ	L=205	個	1	アルミ鋳造
補剛板	φ230x22, φ131	枚	1	S3400、重締めつき
ストッパーシース	φ65 L=165	個	1	ポリエチレン
定 着 棒	φ38 L=1200	本	1	S55C精製品 (支柱カブラ付)
ABSスベーク	φ58 L=146	個	2	ABS樹脂
埋設防錆材	0.90kg	箇所	1	

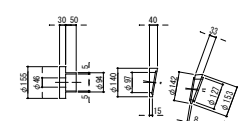


アンカー材 (F20UA) 詳細図



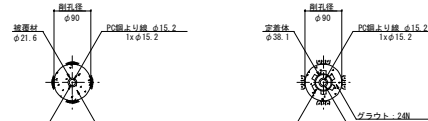
角度調整台座

(FDB450 重締めつき)



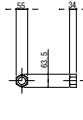
断面図

S=1:5



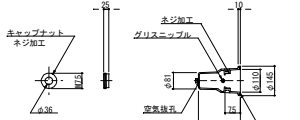
ナット

(S45C)



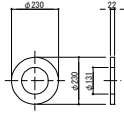
アンカーキャップ

(アルミ鋳造)



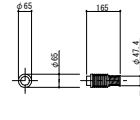
補剛板

(S3400 重締めつき)



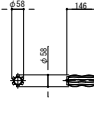
ストッパーシース

(ポリエチレン)



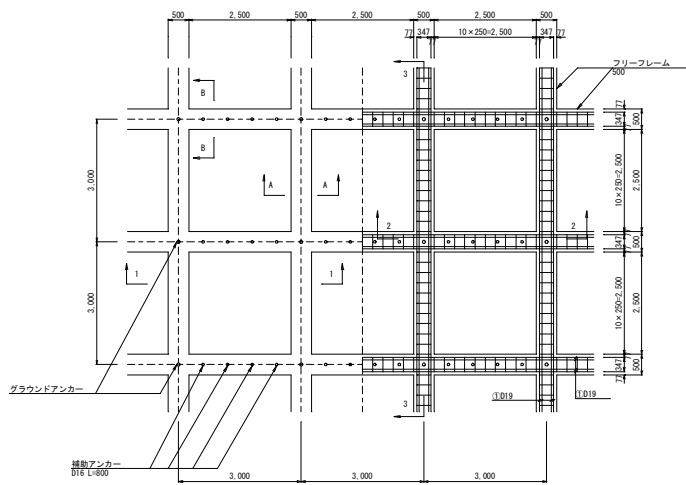
ABSスベーク

(ABS樹脂)

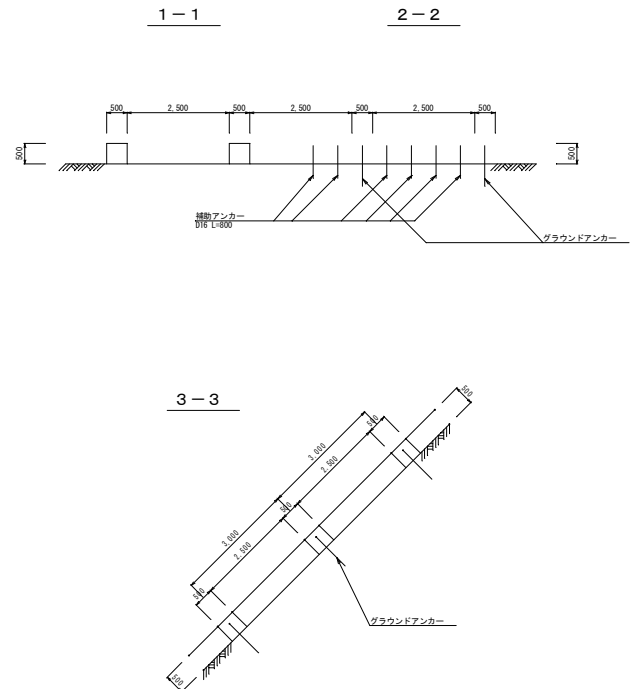


令和7年度 新規採択希望 団体営ため池等整備事業
うるま市 石川前田第2地区 主要構造図-2

展開図 1/100



標準横断面 1/100

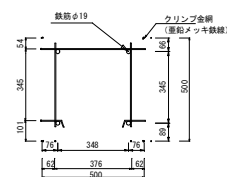


令和7年度 新規採択希望 団体営ため池等整備事業
うるま市 石川前田第2地区 主要構造図-3

フリーフレーム寸法図 1/20

A-A断面

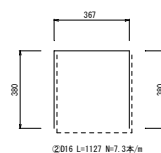
B-B断面



フープ筋寸法図 1/20
(500タイプ)

A-A断面

B-B断面



2016 L=1051 N=7.3本/m

吹付法枠標準断面 1/20

